



Domino G-Series 製品マニュアル

G20i

このページは意図的に空白にしています

DOMINO G-SERIES プリンタ 製品マニュアル

この Domino 品番 EPT026008 のマニュアルは、Domino G20i プリンタの操作とメンテナンスに使用するためのものです。

プリンタの操作方法については、Domino G20i 作業員クイックリファレンスガイド (品番 EPT024620) を参照してください。

このプリンタを使用する方は、「第 1 章：保守作業を始める前にお読みください」に記載されている内容を読み、理解し、その内容に基づいてプリンタを使用する必要があります。また、第 1 章では記号についても説明しています。これらの記号は、マニュアル内の特別な注意事項および必要事項を知らせるものです。記号についても理解された上で、記載内容に従ってください。

著作権保護により、Domino Printing Sciences plc から事前に許可を得ることなく、電子的、機械的、写真複写、録音などのいかなる形式や手段を用いた、本マニュアルの一部または全ての複製、検索システムへの保存、または転送はできません。

弊社は、常に製品改良に努めることを方針としていますので、予告なしに本マニュアルにある仕様を変更する場合があります。

© Domino Printing Sciences plc 2019

技術的なサポートについては、www.DominoCaseCoding.com を参照するか、お近くの Domino 地域代理店の担当者にご連絡ください。

Domino UK Ltd.
Trafalgar Way
Bar Hill
Cambridge
CB23 8TU
United Kingdom
Tel: +44 (0) 1954 782551

**ブラザーインダストリアル
プリンティング株式会社**
東京都大田区西蒲田 8-20-8
アゼル 3 号館
電話番号：03-3736-2731
FAX 番号：03-3736-2734

FCC 通知

当機器は、米連邦通信委員会 (FCC) 規則の第 15 節に準じるクラス A デジタル装置の限定内容に準拠することが試験の結果確認されています。本制限内容は、機器が商業環境で操作されたときの有害な電波干渉に対して正当な保護を行うためのものです。

当機器は、高周波エネルギーを発生し、使用し、またそれらを放射します。当機器は、マニュアルの指示に従って設置及び使用を行わなければ、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。このような場合、ユーザーは、このような干渉を自己責任で回避しなければなりません。

本機器がテレビ、ラジオの受信妨害を受けている場合（本機器の電源をオン/オフすることで原因を特定できる）、以下の対策を講じて妨害の回避を試みてください。

- 受信アンテナの向きを変える。
- 本機器と受信機の間隔を広げる。
- 本機器と受信機のコンセントを別々にする。
- 販売業者または経験のあるラジオ/テレビ局の技術者に相談する。

弊社の明示的な許諾なしに、変更あるいは改造を行った場合、機器の使用権が無効になることがあります。

EMC 規制

本デバイスは、携帯電話、Wi-Fi、Bluetooth デバイスなど、無線通信機器のすぐ近くで操作した場合、正常に機能しない場合があります。

クラス A (商業用の放送および通信機器)

本デバイスの販売者とユーザーは、本デバイスが商業用の電磁気装置 (クラス A) であり、住宅環境以外での使用が意図されていることに留意する必要があります。

本デバイスは、電磁波障害を引き起こす可能性があるため、ユーザーの安全性に関するサービスを提供することはできません。

メキシコ適合性宣言

この製品には、承認済みモジュール (モデル番号: G20i、IFETEL 番号: RCPDOG218-1916) が搭載されています。

この製品を操作する場合は、以下の 2 つの条件に従う必要があります。

- a. 本製品を使用する際に、有害な干渉を発生させないようにすること。
- b. 本製品を使用する際に、望ましくない動作を発生させる可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れること。

このページは意図的に空白にしております

目次

第 1 章	保守作業を始める前にお読みください
第 2 章	説明
第 3 章	操作
第 4 章	故障の検出
第 5 章	メンテナンス
第 6 章	設置

改版記録

改版	日付
第 1 版の全て	2016 年 6 月
第 2 版の全て	2016 年 11 月
第 4 版の全て	2017 年 4 月
第 5 版の全て	2017 年 9 月
第 6 版の全て	2019 年 2 月

第 1 章 : 保守作業を始める前にお読みください

目次

	ページ
はじめに	1-3
基本的な要件	1-3
火災防止	1-5
零れたインクの処理と廃棄	1-5
G-SERIES の表示について	1-6

保守作業を始める前にお読みください

このページは意図的に空白にしてあります

はじめに

Domino 社では、本機で使用しているインクについて安全データシート (SDS) を提供しています。以下では、一般的な指針についてのみ説明します。

基本的な要件

- インクカートリッジの保管、操作、運搬、使用前に、関連資料の安全データシート (SDS) をお読みください。
- 配線の接続を行う前に、電源ケーブルを抜いてください。
- 全てのケーブルが稼働中の製造ラインの部品と接触していないことを確認してください。
- カートリッジのノズルを洗浄する際は、必ずケバの無いワイプを使用してください。
- 付属マニュアルの指示に従ってカートリッジのノズルを洗浄してください。
- サイドレールや製品のガイドレールを適切に調整、整列してプリントヘッドに衝撃を与えないようにしてください。
- プリンタまたはプリントヘッド内の部品を開けないでください。ユーザーが保守可能な部品はありません。
- G20i の操作時は、適切な防護具を着用してください。
- G20i は室内専用のため、屋外での操作は行わないでください。屋外で使用する場合は指定された動作範囲内で使用してください。

保守作業を始める前にお読みください

印字用インクは、正しく使用すれば問題を起こすことはありません。ただし、使用者全員が適切な安全基準を熟知し、必要な予防措置に配慮しなければなりません。以下に基本的な必要事項について説明します。

- 製造業における適切な清潔、整理状態を維持してください。
- インクカートリッジの保存、お取り扱いには十分に注意してください。
- インクや溶剤付近での喫煙および裸火（またはその他の発火）の使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。
- インクを取り扱う作業員は、その使用法について適切な指示を受ける必要があります。

使用環境によって安全対策は異なります。必要な予防措置を取ることができるように、一般的な注意事項を以下に説明します。

- 口への滲入を防ぐために、飲食、喫煙、またはインクが口に入る可能性があるその他の個人の習慣や動作を避ける必要があります。
- インクが目へ滲入しないようにしてください。万一インクが目に入った場合、応急処置として目を生理食塩水に 15 分間浸します（生理食塩水が無い場合、浄水を使用します）。このとき、インクの入っていない方の目に水が入らないようにしてください。その後直ちに医師の診察を受けてください。洗眼液は Domino 社からお買い求めいただけます。（品番 99200）
- G-Series の一部のインクには肌を傷つける恐れのある溶剤が含まれています。常に適切な労働慣行を実施し、リスクアセスメントを行ってください。作業員防護具に関する詳細は、安全データシートを参照してください。一般的な手袋は一時的な保護にしか使えません。飛散物がかかったり、頻繁に利用したりする場合、手袋を交換してください。
- ウェス、ティッシュペーパーなどの使用済みクリーニング用品は、火災の原因となる恐れがあります。これらは使用後に回収し、安全な方法で廃棄してください。
- インクに触れた場合、一番近くにある洗浄設備でインクをできる限り残らないように、速やかに洗い流す必要があります。

火災防止

電気火災の消火には、水を使わないでください。ニトロセルロース系インクによる火災（下記参照）などで水を使用しなければならない場合、必ずまずは電源ケーブルを外してください。

火災は、印字用インクを保管、使用する場合に最も留意しなくてはならない問題です。火災危険度は、使用するインクや洗浄液の種類によって大きく異なります。

水性インクは不燃性ですが、アルコールの混ざっている水性インクは、アルコール濃度が高い場合には燃える恐れがあります。水性インクを使用した装置を高温下に長時間置くと、水が蒸発し、可燃性物質が残留する恐れがあります。

溶剤系インクは使用されている溶剤または溶剤の組み合わせによって、より危険性が高くなります。特定の危険性がある場合、SDS に適切な情報が記載されています。

火災が発生した場合、印字用インクから危険性の高い煙が出ている恐れがあります。これらの理由から、インクは消防活動がすぐに行え、倉庫の外に延焼することのない場所に保存する必要があります。

零れたインクの処理と廃棄

警告： 乾燥したインクは可燃性が高くなっている場合があります。インクが零れたら、速やかに掃除してください。インクの乾燥や、零れたインクの蓄積を避けてください。

零れたインクは、直ちに適切な溶剤で拭取ります。その際、作業者の安全に留意してください。零れたインクや残留物が排水溝や下水設備に流れ込まないようにしてください。

インクと関連液剤は導電性物質です。そのため、プリンタのキャビネット内に零れたインクを拭取る際は、プリンタの電源を必ず切ってください。

印字用インクと関連液剤は一般廃棄物として処分してはいけません。その地域の規則に従い、承認された方法で廃棄する必要があります。

G-SERIES の表示について

マニュアル内では以下の記号が使用されています。手順や説明の横に記号を表示しているものは、重要な警告事項や注意事項です。



怪我や機器の損傷を避けるため、本書内で「警告」や「注意」と記載されている箇所をよく読んでその説明に従ってください。



防護メガネをかけてください。



防護服を着用してください。適切な防護手袋を着用してください。関連する安全データシート (SDS) を参照してください。



機器のスイッチを切り、電源を停止してください。



この手順を実行できるのは、トレーニングを受けた作業員のみです。



静電気放電 (ESD) に注意してください。以下の静電気予防措置を取ってください。

- まずマシンの電源を切ります。
- 付属の ESD コネクタに接続されているリストバンドを着用します。
- 静電気を帯電する衣服の着用は避けます。
- PCB (電子基板) の輸送時は ESD 保護袋を使用してください。
- PCB は、静電電圧を逃がす素材で作られ、アース接続されているマットに置いてください。

第 2 章：説明

目次

	ページ
はじめに	2-3
概要	2-3
プリンタの説明	2-4
Android システム要求	2-4
PC の要件	2-4
プリンタの仕様	2-5
プリンタ接続	2-6
プリンタ状態表示灯	2-7
プリンタ制御	2-8
ワイヤレス USB キーボードインターフェース	2-10
メインメニュー	2-10
メッセージメニュー	2-11
操作メニュー	2-12
設定メニュー	2-13
PC のインターフェース	2-15
プリンタ制御画面	2-15
デザイン画面	2-19
ツールメニュー	2-21
Android デバイスのインターフェース	2-22

説明

このページは意図的に空白にしてあります

はじめに

概要

本マニュアルでは、以下の内容について説明します。

- G20i の基本的な紹介
- メニュー構造の詳細
- メッセージの作成方法
- 故障予防メンテナンスの手順
- 故障の検出と診断
- ソフトウェアのアップデート、メッセージ、ロゴ、フォントの変更についての詳細
- 設置方法



Domino G20i サーマルインクジェットプリンタ

プリンタの説明

G20i は製造ライン上を流れる商品にデータを印字する、コンパクトなサーマルプリンタです。

G20i はワイヤレス USB キーボードでの操作、Bluetooth を通した Android 端末での操作、USB 接続されたコンピュータでの操作が可能です。

Android システム要求

Android システム要求

オペレーティングシステム:	Android バージョン 4.0 以降。
接続機能:	Bluetooth

PC の要件

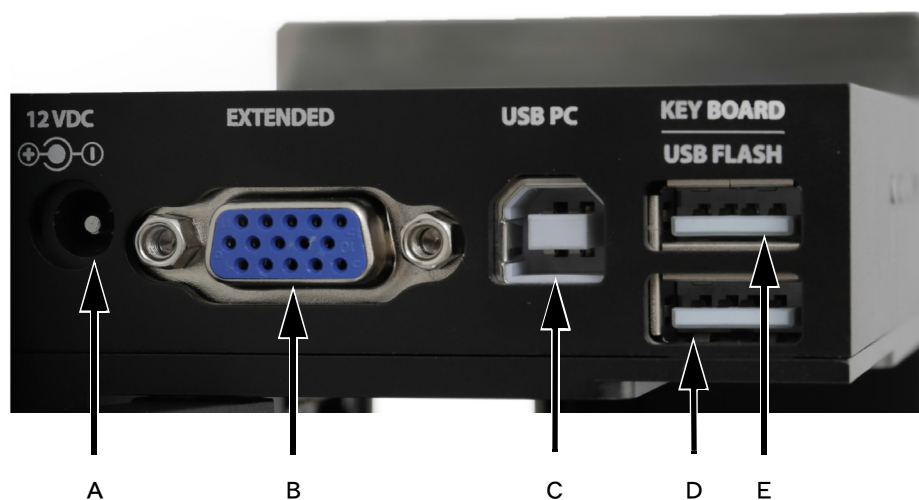
PC システム要求

CPU:	Core 2 Duo 2x2.0 GHz
RAM:	2GB
ハードディスクドライブの空き領域:	50MB
オペレーティングシステム:	Windows 7、Windows 8、Windows 10 (32 ビット、64 ビット)、(Microsoft .NET Framework 4)

プリンタの仕様

画面：	LCD 2.8" 自動回転
寸法：	長さ：107.5mm (4.23") 幅：74.5mm (2.93") 奥行き：83mm (3.27")
重量：	450g
電源：	入力：100V - 240V AC、50/60Hz、1.4A 出力：12V、5.0A、60W
最大消費電力：	48W
最大印字解像度：	600 X 600 DPI (G20i の制御に PC を使用した場合) 300 X 300 DPI (G20i の制御に Android デバイスまたはワイヤレス USB キーボードを使用した場合)
印字速度：	76m/min (300 x 300 dpi の場合)
印字密度：	5 レベル
ユーザーインターフェース：	PC、ワイヤレス USB キーボード、Bluetooth 経由の Android デバイス
メッセージメモリ：	100 件まで
インク溶剤：	水性および溶剤系
メニュー言語：	マルチ言語/選択可
印字可能文字：	Windows TrueType フォント (PC 接続時)
最大行数：	6
最大文字高さ：	最大 12.7mm (0.5")
印字対象物との距離：	最大 6mm (0.23")
印字可能データタイプ：	英数字テキスト、記号、ロゴ、日付と時刻、有効期限、カウンタ、シフトコード、バーコード
温度範囲：	+5° C から +50° C (+41° F から +122° F)
湿度範囲：	10% から 90% (結露無きこと)

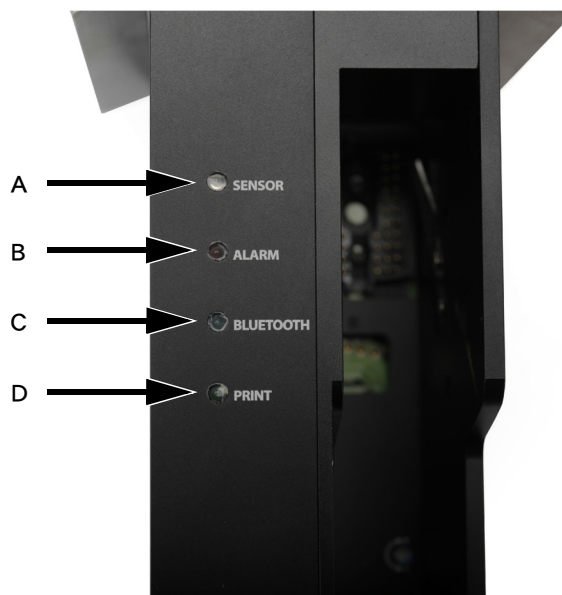
プリンタ接続



プリンタ接続

A	12V DC 電源入力。
B	シリアル接続 (外付製品センサ、シャフトエンコーダ、アラームビーコンなど用)。
C	USB-B ポート (PC 接続用)。
D	USB フラッシュメモリ用ポート (ファームウェア、フォント、ロゴの更新用)。
E	USB ポート (ワイヤレス USB キーボードのレシーバー用)。

プリンタ状態表示灯



プリンタ状態表示灯

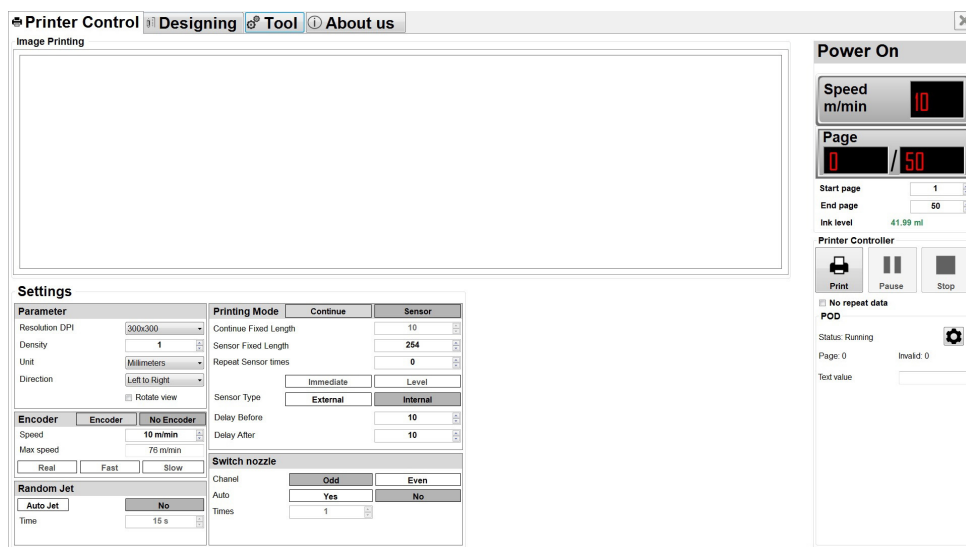
A	センサ LED プリンタが製品センサから信号を受信すると点灯します。 赤色灯 = 内部製品センサ 緑色灯 = 外付製品センサ
B	警告 LED エラー発生時に点灯します。
C	Bluetooth LED Bluetooth デバイスがプリンタに接続されると点灯します。
D	印字 LED メッセージの印字中に点灯します。

プリンタ制御

G20i の制御には、異なる 3 つのタイプのユーザーインターフェースを使用できます。

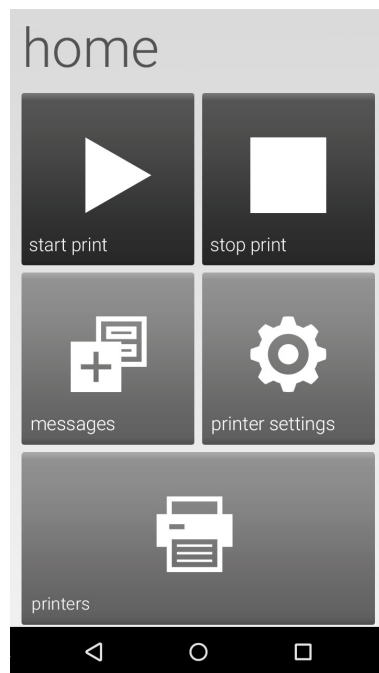


ワイヤレス USB 2.0 キーボードと LCD 画面。
詳細については、[2-10 ページ](#)を参照してください。



Domino Printer G20i PC アプリケーションをインストールした PC。
詳細については、[2-15 ページ](#)を参照してください。

説明

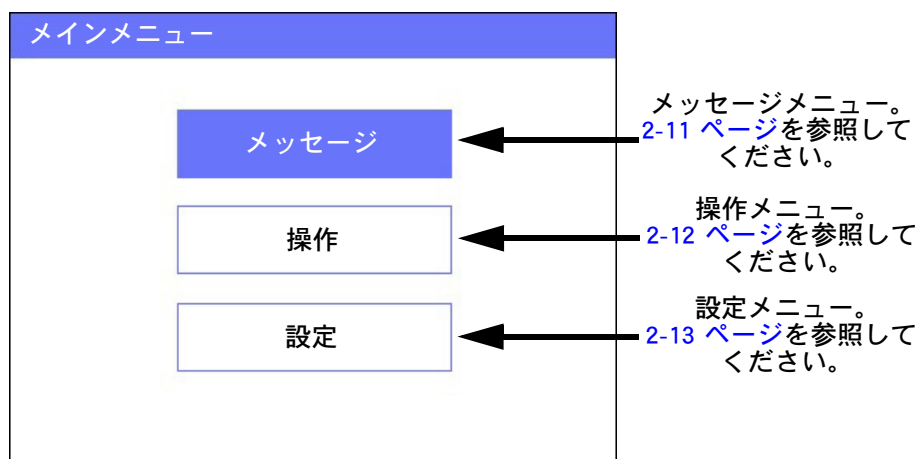


Domino Printer G20i アプリケーションをインストールした Android デバイス。詳細については、[2-22 ページ](#)を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードインターフェース

メインメニュー

プリンタを起動すると、以下の [メインメニュー] 画面が G20i の LCD 画面に表示されます。



メインメニュー画面

以下の表では、ワイヤレス USB キーボードのボタンの機能が定義されています。ワイヤレス USB キーボードは、G20i の LCD 画面上でメニュー間を移動したりデータを入力したりするために使用されます。

Enter	設定を確認、保存、適用します。
ESC	前の画面に戻ります。
←/→	カーソルを左右に移動します。
↑/↓	カーソルを上下に移動します。
Tab	Tab ボタンを押したままにするとカーソルの移動が早くなります。
Home/End	カーソルを先頭または最後に移動します。
Shift	Shift ボタンを押したままにすると大文字が入力できます。
Insert	メッセージの作成中に Insert ボタンを押すと、記号、ロゴ、カウンタ、日付、時刻、文字列、バーコードをメッセージのデザインに挿入することができます。
Backspace	右側からメッセージフィールドを削除します。

メッセージメニュー

[メッセージメニュー]には、以下の項目があります。

新規作成	新規メッセージを作成します。
Free Design	Web デザインツールを使用して作成され、USB メモリデバイスに保存されたメッセージを印字します。
開く	既存のメッセージを開いて、印字、編集、削除します。
情報	現在のプリンタ設定を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • インクレベル • 速度 • 密度 • 解像度 • 印字前ディレイ (製品センサが印字をトリガして、メッセージが印字されるまでの間隔) • 印字後ディレイ (印字されるメッセージの間隔) • 印字モード • 繰り返し • 最低 (現在のインクレベルと設定で印字可能な最低印字数)
インクコスト	ロードされたメッセージに対するインクコスト計算機能の設定を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • 価格 • コード

操作メニュー

[操作メニュー]には、以下の項目があります。

開始/停止	印字を開始または停止します。
ページ	プリントヘッドをページして、ノズル詰まりを解消します。
PC を接続/ PC から切断	PC へ G20i を接続または切断します。

設定メニュー

[設定メニュー]には、以下の項目があります。

速度	エンコーダをセットアップして製造ラインの速度を測定します。 または、製造ラインの速度の値を手入力します。
解像度	印字解像度を設定します。
密度	印字密度を設定します。
印刷開始位置	プリンタのトリガの作動からメッセージの印字までの間隔を設定します。 さらに、印字されるメッセージの間隔を設定します。
カートリッジ	インクカートリッジのインクの量を手入力し、インクのタイプを表示します。
ロゴ更新	USB スティックからプリンタの内部メモリにロゴまたは画像を更新します。
文字列	メッセージに挿入可能なテキストの更新文字列を作成および更新します。
ランダムジェット	作動していない時にプリントヘッドを定期的にパージして、プリントヘッドノズルの詰まりを防止します。
印字面	どのノズル列を使用して印字するか選択します。または自動でノズル列を切り替えます。
センサ	内部または外付のどちらの製品センサを使用してメッセージ印字を開始するか選択します。
方向	印字方向を設定します。
印字モード	印字モード/トリガを設定します。
単位	長さ単位を選択します。 (mm またはインチ)
Bluetooth	G20i を Android デバイスから制御するための Bluetooth 接続を有効または無効にするか、設定します。
フォント更新	フォントタイプを更新します。
ロールオーバー	生産シフトスケジュールにより異なる時間の値を有効または無効にします。 (デフォルトの時間の値 00:00)
システムクロック	システムクロックの時間と日付を設定します。
回転	画面モードを選択します。 (自動回転または回転ロック)

説明

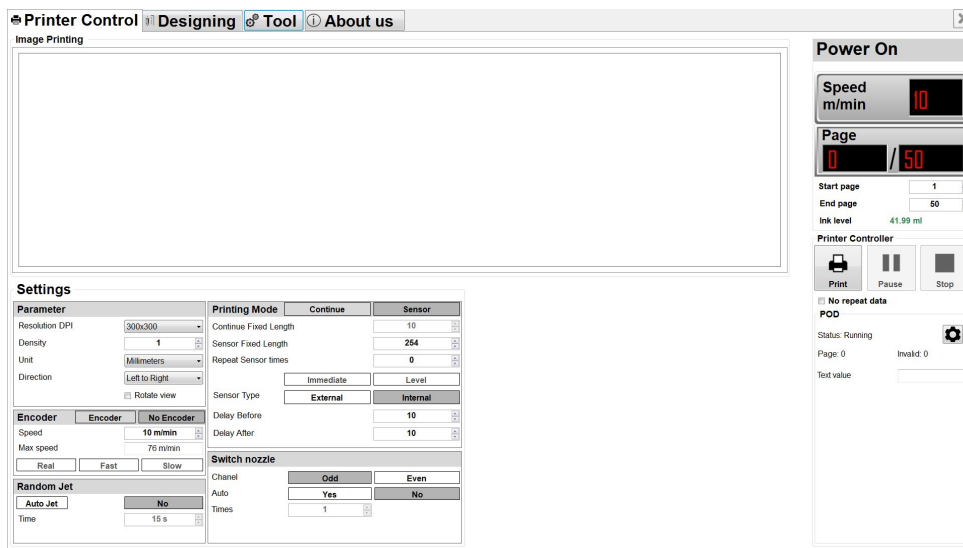
パスワード	パスワードの保護を設定して、プリンタ設定に対する無許可のアクセスを防止します。
デフォルト	G20i を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。
言語	インターフェース言語を選択します。
IO シグナル	オプションのリモート開始/停止ボタンを有効または無効にします。
カスタム文字列	カスタムのテキスト文字列を更新して表示します。
コーダー名	プリンタ名を表示および編集します。
RS485	RS485 ネットワーク設定を有効または無効にします。
LCD バックライト	LCD バックライトのタイムアウト機能を調整します。
リセット	メッセージのカウンタをリセットしてリセット値にします。
現地日付	日と月の名前を設定します。
バックアップと復元	USBメモリデバイスを使用して、フォント、ロゴ、言語、プリンタ設定のバックアップまたは復元を行います。
情報	現在のプリンタソフトウェアのバージョンを表示します。プリンタソフトウェアを更新します。

PC のインターフェース

G20i を PC と接続するには、6-16ページの「PC 接続とソフトウェアのインストール」を参照してください。

プリンタ制御画面

Domino Printer G20i PC アプリケーションを起動すると、以下の [プリンタ制御画面] が表示されます。



Domino G20i PC ソフトウェア

[プリンタ制御] 画面には、以下の項目が表示されます。

サブメニュー	設定名	説明
タスクバー	プリンタ制御	[プリンタ制御] をクリックして、他のメニューから [プリンタ制御] メニューに戻ります。
	デザイン	メッセージテンプレートを作成および編集します。2-19 ページを参照してください。
	ツール	プリントヘッドのページ、イベントログの監視、インクコストの計算、ロゴの変換などのためのツールです。2-21 ページを参照してください。
	会社情報	ソフトウェアのバージョンや、Domino Printing Sciences plc のお問い合わせ先の詳細について表示します。


説明

サブメニュー	設定名	説明
パラメータ	解像度 DPI	必要な印字解像度を選択します。
	密度	必要な印字密度を選択します。
	単位	長さ単位を選択します。
	方向	印字方向を設定します。
	表示を回転	メッセージを上下逆にして印字します。
印字モード	センサ	これを選択すると、製品検出センサがトリガされるたびに、印字処理が1回だけ実行されます。
	連続	これを選択すると、製品検出センサがトリガされるたびに、印字処理が複数回実行されます。
	固定長を継続	[連続] モードを選択した場合は、印字間の距離を設定する必要があります。
	センサ固定長	[センサ] モードを選択した場合は、印字間の距離を設定する必要があります。
	繰り返しセンサ回数	[センサ] モードを選択した場合は、印字処理の繰り返し回数を設定する必要があります。
	即時	[連続] モードを選択した場合は、製品検出センサが1回トリガされた後に連続印字を実行するように設定する必要があります。
	レベル	[連続] モードを選択した場合は、製品検出センサが連続してトリガされたときに連続印字を実行するように設定する必要があります。製品検出センサがトリガされない場合は、印字を停止してください。
	外部	外部の製品検出センサを使用する場合は、これを選択します。
	内部	プリンタに内蔵されている製品検出センサを使用する場合は、これを選択します。
	印字前ディレイ	製品検出センサが印字処理をトリガしてから実際にメッセージが印字されるまでの間隔を設定します。
	印字後ディレイ	メッセージ印字後の間隔を設定します。

説明









サブメニュー	設定名	説明
エンコーダ	エンコーダ	プリンタでエンコーダを使用する場合に選択します。
	エンコーダなし	印字速度を手動で設定する場合に選択します。
	速度	印字速度を設定します。
	最高速度	現在の設定で実現可能な最高印字速度を表示します。
	リアル	速度変化に対してエンコーダを最適化します。
	高速	高速印字用にエンコーダを最適化します。
	低速	低速印字用にエンコーダを最適化します。
ランダム ジェット	自動ジェット	ユーザーが定義した間隔で、プリントヘッドのパーズが自動的に実行されます。
	なし	プリントヘッドの自動パーズは実行されません。
	時間	プリントヘッドのパーズを実行する間隔を設定します。
ノズルの切り 替え	チャンネル: <ul style="list-style-type: none"> • 奇数 • 偶数 	印字で使用するノズル列を選択します。
	自動: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	ノズル列の自動切り替え機能の有効と無効を切り替えます。
	回数	特定のノズル列を別のノズル列に切り替えるまでに実行する印字処理の回数を設定します。

説明


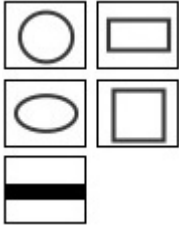





サブメニュー	設定名	説明
印字の状態	電源オン/オフ	プリンタの電源がオンまたはオフのいずれであるか表示します。
	速度 (m/min)	現在の印字速度を表示します。
	ページ	印字済みのメッセージ数と、これから印字されるメッセージ数を比較して表示します。
	開始ページ	印字を開始するページを選択します。
	終了ページ	印字を終了するページを選択します。
	インクレベル	インクカートリッジのインクの量を表示します。
プリンタコントローラ	印字	[印字] を選択して印字を開始します。
	中断	[中断] を選択して印字を中断します。
	運転停止	[運転停止] を選択して印字を停止します。
	データの繰り返しなし	[データの繰り返しなし] ボックスをチェックして、メッセージデータを繰り返さないようにします。
POD	状態	印字オンラインデータ (POD) の状態を表示します。
		POD 設定を表示します。
	ページ	これまでに実行された POD 印字処理の回数を表示します。
	無効	プリンタが受信した無効な POD 項目の数を表示します。
	テキスト値	オンラインデータのテキスト値を表示します。

デザイン画面

[デザイン] 画面には、以下の項目が含まれています。

<p>新規テンプレート</p> 	<p>新しいメッセージテンプレートを作成します。</p>
<p>テンプレート編集</p> 	<p>既存のメッセージテンプレートを編集します。</p>
<p>開く</p> 	<p>PC 上に保存されたメッセージテンプレートを開きます。</p>
<p>保存</p> 	<p>PC 上にメッセージテンプレートを保存します。</p>
<p>.tiff ファイル に出力</p> 	<p>メッセージテンプレートを .tiff ファイルとして出力します。</p>
<p>削除</p> 	<p>選択したオブジェクトを削除します。</p>
<p>切り取り</p> 	<p>選択したオブジェクトを切り取ります。</p>
<p>コピー</p> 	<p>選択したオブジェクトをコピーします。</p>

説明

<p>貼り付け</p> 	<p>オブジェクトを貼り付けます。</p>
<p>図形</p> 	<p>直線、矩形、四角形、円形、楕円形をメッセージテンプレートデザインに挿入します。</p>
<p>テキスト</p> 	<p>テキストとバーコードをメッセージテンプレートデザインに挿入します。</p>
<p>データフィールド</p> 	<p>データベース内の情報が含まれているメッセージテンプレートデザインに、テキスト項目またはバーコード項目を挿入します。</p>
<p>シリアルナンバー</p> <p>123</p>	<p>シリアルナンバーまたはカウンタをメッセージテンプレートデザインに挿入します。</p>
<p>シフトコード</p> 	<p>シフトコードをメッセージテンプレートデザインに挿入します。</p>
<p>画像</p> 	<p>画像またはロゴをメッセージテンプレートデザインに挿入します。</p>
<p>POD</p> 	<p>ネットワーク上のソースまたはバーコードスキャナから転送されたデータが含まれているメッセージテンプレートデザインに、印字オンラインデータ (POD) 項目を挿入します。</p>

ツールメニュー

[ツール] メニューには、以下の項目があります。



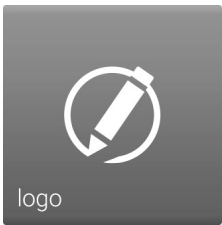
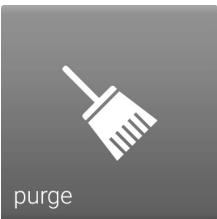
<p>ページ</p> 	<p>プリントヘッドをページしてノズル詰まりを解消します。</p>
<p>インクコスト</p> 	<p>インクコストを計算します。</p>
<p>イベントログ</p> 	<p>プリンタのイベントログを表示します。</p>
<p>ロゴ変換</p> 	<p>ロゴを G20i と互換性のあるフォーマットに変換します。</p>
<p>言語</p> 	<p>使用する言語を選択します。</p>

Android デバイスのインターフェース

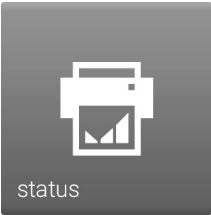

G20i を Android デバイスに接続するには、6-20 ページの「[Android デバイスの接続](#)」を参照してください。

Domino Printer G20i Android アプリケーションを起動すると、次の項目が表示されます。

<p>印字開始</p> 	<p>印字を開始します。</p>
<p>印字停止</p> 	<p>印字を停止します。</p>
<p>メッセージ</p> 	<p>メッセージを開き、編集、デザイン、保存します。</p>

<p>プリンタ設定</p> 	<p>プリンタ設定を表示して変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 密度 • 解像度 • 印字方向 • 印字モード • ロールオーバー時間 • 印字速度 • 印字開始位置 • 印字面 • センサ • ランダムジェット • カートリッジ • システムクロック • 測定単位 • 回転 • コーダー名 • リセットカウンタ
<p>プリンタ検索</p> 	<p>Bluetooth 接続が有効なプリンタを表示して選択します。</p>
<p>ロゴとバーコード</p> 	<p>以下の項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バーコード作成 • テキストロゴ作成 • ロゴ更新
<p>パージ</p> 	<p>プリントヘッドをパージしてノズル詰まりを解消します。</p>

説明

<p>状態</p>  <p>The icon shows a printer with a document being printed, and the word 'status' is written below it.</p>	<p>以下のプリンタの状態の項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 印字済みページ数• 速度• 密度• 解像度• 印字前ディレイ• 印字後ディレイ• インクレベル• 印字面モード• カートリッジ面• 自動変更まで• 印字モード• 繰り返し回数• 繰り返し遅延• 連続遅延• プリンタ名• ファームウェア
<p>設定</p>  <p>The icon shows a gear with a globe inside, and the word 'settings' is written below it.</p>	<p>以下の項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 言語• クイックガイド• 情報

第 3 章 : 操作

目次

	ページ
運転開始	3-5
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-5
PC の使用	3-6
Android デバイスの使用	3-8
シャットダウン	3-9
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-9
PC の使用	3-10
Android デバイスの使用	3-11
印字の開始	3-12
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-12
PC の使用	3-12
Android デバイスの使用	3-12
印字の停止	3-13
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-13
PC の使用	3-13
Android デバイスの使用	3-13
メッセージのロードと印字	3-14
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-14
PC の使用	3-15
Android デバイスの使用	3-16
メッセージの作成	3-17
ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの作成	3-17
バーコード	3-18
可変バーコード	3-19
記号・特殊文字	3-20
ロゴ	3-21
シングルカウンタ	3-22
ボックス/ロットカウンタ	3-23
日付	3-25
有効期限	3-26
時刻	3-27
文字列	3-28
カスタム文字列 (漢字と特殊文字のテキスト)	3-29
シフトコード	3-30

操作

PC を使用したメッセージの作成	3-31
テキスト	3-32
バーコード	3-33
可変バーコード	3-36
図形	3-38
画像	3-39
シリアルナンバー	3-40
日付と時刻	3-42
有効期限	3-43
シフトコード	3-44
PC ファイルのデータフィールド	3-45
サーバー上のデータフィールド	3-47
POD (印字オンラインデータ)	3-50
Android デバイスを使用したメッセージの作成	3-52
テキスト	3-52
テキストロゴ (漢字と特殊文字のテキスト)	3-53
バーコード	3-54
可変バーコード	3-55
時刻	3-57
日付	3-58
有効期限	3-59
シングルカウンタ	3-60
ボックス/ロットカウンタ	3-61
シフトコード	3-62
ロゴ	3-63
WEB メッセージデザインツール	3-64
メッセージの作成	3-64
メッセージのエクスポート	3-64
USBメモリからのメッセージ印字	3-66
メッセージの確認と編集	3-67
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-67
PC の使用	3-68
Android デバイスの使用	3-69
メッセージフィールドの編集	3-70
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-70
PC の使用	3-70
Android デバイスの使用	3-70

操作

メッセージフィールドの削除	3-71
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-71
PC の使用	3-71
Android デバイスの使用	3-71
メッセージフィールドのコピー	3-72
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-72
PC の使用	3-72
Android デバイスの使用	3-72
メッセージの保存	3-73
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-73
PC の使用	3-73
Android デバイスの使用	3-73
メッセージの削除	3-74
ワイヤレス USB キーボードの使用	3-74
PC の使用	3-74
Android デバイスの使用	3-74
ロゴの更新	3-75
ワイヤレス USB キーボードと PC の使用	3-75
ロゴの変換	3-75
ロゴの更新	3-77
Android デバイスの使用	3-78
文字列の更新と作成	3-79
カスタム文字列の更新と作成	3-80
インクコスト計算機能	3-82

操作

このページは意図的に空白にしております

運転開始

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

ワイヤレス USB キーボードを使用した G20i の運転開始方法

- (1) USB キーボードのレシーバーを、G20i の USB キーボード用のポートに挿入します。



- (2) キーボード裏面のオン/オフスイッチでキーボードの電源を入れます。



- (3) インクカートリッジを G20i に挿入します。詳しくは、[6-14 ページの「インクカートリッジの取り付け」](#)を参照してください。

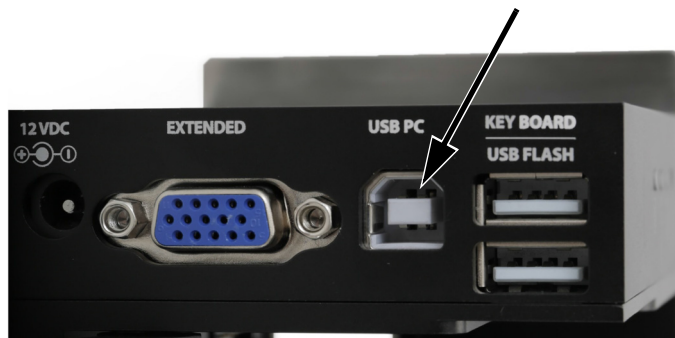
PC の使用



警告： 防護メガネをかけてください。

PC を使用した G20i の運転開始方法

- (1) USB A-B ケーブルを使用して PC を G20i の USB PC ソケットに接続します。



- (2) PC の電源を入れます。
- (3) USB キーボードのレシーバーを、G20i の USB キーボード用のポートに挿入します。



- (4) キーボード裏面のオン/オフスイッチでキーボードの電源を入れます。



操作

- (5) インクカートリッジを G20i に挿入します。詳しくは、[6-14 ページの「インクカートリッジの取り付け」](#)を参照してください。
- (6) プリンタのメインメニューで、[操作] をハイライト表示させます。
- (7) Enter キーを押します。
- (8) [PC を接続] をハイライト表示させます。
- (9) Enter キーを押します。
- (10) PC 上で Domino G20i ソフトウェアを開きます。

Android デバイスの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

Android デバイスを使用したプリンタの運転開始方法

- (1) USB キーボードのレシーバーを、G20i の USB キーボード用のポートに挿入します。



- (2) キーボード裏面のオン/オフスイッチでキーボードの電源を入れます。



- (3) インクカートリッジを G20i に挿入します。詳しくは、[6-14 ページの「インクカートリッジの取り付け」](#)を参照してください。
- (4) プリンタのメインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (5) Enter キーを押します。
- (6) [Bluetooth] をハイライト表示させます。
- (7) Enter キーを押します。
- (8) [アクティブ] が、[有効] に設定されていることを確認してください。
- (9) Android デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
- (10) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (11) [プリンタ] を選択します。
- (12) [検索] を選択して G20i を検索します。
- (13) G20i が検索され、[プリンタ] 一覧に名前が表示されます。
- (14) G20i を選択します。
- (15) [接続] を選択します。

シャットダウン

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

注意： インクカートリッジは乾燥しないように適切に保管してください。詳しくは、5-4 ページの「[インクカートリッジの洗浄](#)」を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したプリンタのシャットダウン方法

- (1) プリンタのメインメニューで、[操作] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) 再度 Enter キーを押し、[運転停止] を選択します。
- (4) キーボード裏面のオン/オフスイッチでキーボードの電源を切ります。



- (5) インクカートリッジを取り外し、インクカートリッジキャップを交換します。5-4 ページの「[インクカートリッジの洗浄](#)」を参照してください。

PC の使用



警告： 防護メガネをかけてください。

注意： インクカートリッジは乾燥しないように適切に保管してください。詳しくは、5-4 ページの「[インクカートリッジの洗浄](#)」を参照してください。

PC を使用したプリンタのシャットダウン方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [運転停止] アイコンをクリックして印字を停止します。



- (4) インクカートリッジを取り外し、インクカートリッジキャップを交換します。5-4 ページの「[インクカートリッジの洗浄](#)」を参照してください。

Android デバイスの使用

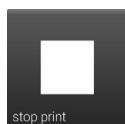


警告： 防護メガネをかけてください。

注意： インクカートリッジは乾燥しないように適切に保管してください。詳しくは、[5-4 ページの「インクカートリッジの洗浄」](#)を参照してください。

Android デバイスを使用したプリンタのシャットダウン方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [印字停止] を選択します。



- (3) インクカートリッジを取り外し、インクカートリッジキャップを交換します。[5-4 ページの「インクカートリッジの洗浄」](#)を参照してください。

印字の開始

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字の開始方法

- (1) プリンタのメインメニューで、[操作] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) 再度 Enter キーを押し、[運転開始] を選択します。

PC の使用



警告： 防護メガネをかけてください。

PC を使用した印字開始方法

- (1) PC 上で Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [印字] アイコンをクリックして印字を開始します。



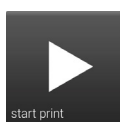
Android デバイスの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

Android デバイスを使用した印字開始方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [印字開始] を選択します。



印字の停止

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字の停止方法

- (1) プリンタのメインメニューで、[操作] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) 再度 Enter キーを押し、[運転停止] を選択します。

PC の使用



警告： 防護メガネをかけてください。

PC を使用した印字停止方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [運転停止] アイコンをクリックして印字を停止します。



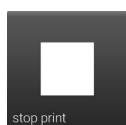
Android デバイスの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

Android デバイスを使用した印字停止方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [印字停止] を選択して印字を停止します。



メッセージのロードと印字

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージのロード方法と印字方法

- (1) [メインメニュー] で、[メッセージ] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[開く] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) 印字するメッセージをハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) カーソルを移動して、[開く] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) カーソルを移動して、[操作] をハイライト表示させます。
- (10) Enter キーを押します。
- (11) カーソルを移動して、[運転開始] をハイライト表示させます。
- (12) Enter キーを押します。

PC の使用



警告： **防護メガネをかけてください。**

注記： PC の使用時は、メッセージはローカルの PC ハードドライブに保存されます。そのため G20i が PC から切断されると、G20i でメッセージを印字することはできなくなります。

PC を使用したメッセージのロード方法と印字方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [デザイン] メニューを開きます。
- (3) [開く] アイコンをクリックします。



- (4) 保存済みのファイルがある場所に移動してファイルを選択します。
- (5) [開く] をクリックします。
- (6) ウィンドウが開き、メッセージが正常に開かれたかどうか通知されます。[OK] をクリックして続行します。
- (7) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (8) [印字] アイコンをクリックしてメッセージの印字を開始します。



Android デバイスの使用



警告： **防護メガネをかけてください。**

注記： Android デバイスの使用時は、選択できるメッセージは Android デバイスで最近作成されたものに限られます。

Android デバイスを使用したメッセージのロード方法と印字方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [メッセージ] を選択します。
- (3) [最近のメッセージ] リストからメッセージを選択します。
- (4) [送信] を選択します。

メッセージの作成

注記: 印字密度と印字解像度で高い値を設定すると、印字速度が下がり、インクの消費量が多くなります。詳細については、[6-34 ページ](#)を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの作成

注記: メッセージに漢字または特殊文字を挿入するには、カスタム文字列を使用してください。詳しくは、[3-29 ページ](#)の「[カスタム文字列 \(漢字と特殊文字のテキスト\)](#)」を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの作成方法

- (1) プリンタのメインメニューでカーソルを移動して、[メッセージ] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[新規作成] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [通常フォント] または [大文字フォント] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) 使用するフォントサイズと行数をハイライト表示させます。

フォントサイズ	行数
12.7mm (0.50")	1
5.92mm (0.23")	2
3.83mm (0.17")	3
2.54mm (0.10")	4
1.69mm (0.07")	6

- (8) Enter キーを押します。
- (9) これで、キーボードでテキストを入力できるようになります。メッセージデザインに他のデータタイプを入力する場合は Insert キーを押してください。

バーコード

バーコードの品質を一定に保つために、シャフトエンコーダを使用して製造ラインの速度を測定してください。詳しくは、[6-28 ページの「シャフトエンコーダの接続」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのバーコードの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、バーコードを印字する位置にカーソルを置きます。

注記： 複数行のテキストを印字する場合、カーソルを最後の行に置きます。これにより、バーコードを完全に印字することができます。

- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[バーコード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[内容] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) 必要な設定を入力します。

設定名	説明
タイプ	バーコードのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • CODE 39 • CODE 2/5 • CODE 128 • CODE 93 • UPC-A • EAN • CODABAR • CODE 11
幅	バーコードの幅を選択します。 範囲 :1 ~ 4
高さ	バーコードの高さを選択します。 範囲 :1 ~ 3
間隔	ヒューマンリーダブルとの間隔を設定します。
テキスト	ヒューマンリーダブルを [有効] または [無効] にします。
値	バーコードデータを入力します。

- (8) Enter キーを押します。

可変バーコード

可変バーコードは、バーコードの値にカウンタを用います。

メッセージデザインへの可変バーコードの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、可変バーコードを印字する位置にカーソルを置きます。

注記： 複数行のテキストを印字する場合、カーソルを最後の行に置きます。これにより、バーコードを完全に印字することができます。

- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[バーコード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[可変] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) 必要な設定を入力します。

設定名	説明
タイプ	バーコードのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • CODE 39 • CODE 2/5 • CODE 128 • CODE 93 • UPC-A • EAN • CODABAR • CODE 11
幅	バーコードの幅を選択します。 範囲:1 ~ 4
高さ	バーコードの高さを選択します。 範囲:1 ~ 4
間隔	ヒューマンリーダブルとの間隔を設定します。
テキスト	ヒューマンリーダブルを [有効] または [無効] にします。
プレフィックス	可変バーコードの値の先頭に表示されるテキストを追加します。
カウンタ	バーコードに使用されるカウンタの値を入力します。
サフィックス	バーコードのカウンタの後に印字されるテキストを入力します。

- (8) Enter キーを押します。

記号・特殊文字

以下の表に記載された記号・特殊文字は、テキストとしてキーボードを使用してメッセージに追加することができます。

!	“	#	\$	%	‘	()	*	+	,	-	.	/	:	;	<
=	>	?	@	[\]	^	_	`	{		}	~			

以下の表に記載された追加の記号・特殊文字は、挿入することでメッセージに追加することができます。

?	,	?	”	…	†	‡	^	%	<	‘	’	“	”	.	-	—
~	™	>	¡	¿	£	¤	¥		§	¨	©	ª	«	¬	®	-
°	±	²	³	´	µ	¶	·	¸	¹	º	»	¼	½	¾	¿	×
∅	ƒ	÷	ø	þ	á	é	í	ó	ú	ü	ñ	à	À	Á	ã	Ã
ç	Ç	É	ê	Ê	Í	Ó	Ú	Ü	ä	å	æ	ë	ü	ß	ÿ	Ä
Å	Æ	Ë	Ö	â	è	î	ï	ô	œ	ù	û	Â	È	?	Ï	Ô
Œ	Ù	Û	ÿ	«	»											

メッセージデザインへの記号・特殊文字の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、記号・特殊文字を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[記号・特殊文字]をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、選択する記号・特殊文字をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。

ロゴ

最大 4 つのロゴをプリンタの内部メモリに保存できます。保存されたロゴはメッセージデザインに挿入することができます。

保存済みの 4 つのロゴの更新方法は、[3-75 ページの「ロゴの更新」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのロゴの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、ロゴを印字する位置にカーソルを置きます。

注記： 複数行のテキストを印字する場合、カーソルを最後の行に置きます。これにより、ロゴを完全に印字することができます。

- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[ロゴ] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、目的のロゴをハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。

シングルカウンタ

1つのメッセージにつき最大6個のカウンタを挿入することができます。

停電が発生した場合、電源復旧後にカウンタはシャットダウンした時点からカウントを再開します。

メッセージデザインへのシングルカウンタの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、カウンタを印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[カウンタ]をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[シングル]をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) これで、以下のカウンタ設定を行えるようになります。

注記：(1) 矢印キーで目的の設定までカーソルを移動し、新しい値を入力します。

- (2) 設定項目を変更したら、そのつど Enter キーを押して新しい値を適用してください。

設定名	説明
開始	カウンタの開始の値を入力します。
現在	カウンタの現在値です。
リセット	カウンタのリセット値を入力します。リセット値に到達すると、カウンタの値は開始の値に戻ります。最大リセット値は 2,000,000,000 です。
ステップ	カウンタのステップ間隔の数値を入力します。たとえば、[ステップ]の値を 5 に設定すると、カウントは 5、10、15、20 と進行します。最大ステップ値は 250 です。
増加/減少	カウント方向を [増加] または [減少] から選択します。
ゼロ表示	カウンタの上位桁に、ゼロを挿入します。

- (8) [ここにカウンタを追加]をハイライト表示させます。
- (9) Enter キーを押します。

ボックス/ロットカウンタ

デュアルカウンタであるボックス/ロットカウンタを使用して、ボックス番号とロット番号を印字することができます。

停電が発生した場合、電源復旧後にボックス/ロットカウンタは同じ値からカウントを再開します。

メッセージデザインへのボックス/ロットカウンタの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、ボックス/ロットカウンタを印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[カウンタ] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[ボックス/ロット] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) カーソルを移動して、[カウンタ 1] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) これで、以下のボックス/ロットカウンタの前半の設定を行うことができます。

注記：(1) 矢印キーで目的の設定までカーソルを移動し、新しい値を入力します。

- (2) 設定項目を変更したら、そのつど Enter キーを押して新しい値を適用してください。

設定名	説明
開始	カウンタの開始の値を入力します。
現在	カウンタの現在値です。
リセット	カウンタのリセット値を入力します。リセット値に到達すると、カウンタの値は開始の値に戻ります。最大リセット値は 2,000,000,000 です。
ステップ	カウンタのステップ間隔の数値を入力します。たとえば、[ステップ] の値を 5 に設定すると、カウントは 5、10、15、20 と進行します。最大ステップ値は 250 です。
増加/減少	カウント方向を [増加] または [減少] から選択します。
ゼロ表示	カウンタの上位桁に、ゼロを挿入します。

- (10)[ここにカウンタを追加] をハイライト表示させます。

操作

- (11)Enter キーを押します。
- (12)キーボードの Insert キーを押します。
- (13)カーソルを移動して、[カウンタ] をハイライト表示させます。
- (14)Enter キーを押します。
- (15)カーソルを移動して、[ボックス/ロット] をハイライト表示させます。
- (16)Enter キーを押します。
- (17)カーソルを移動して、[カウンタ 2] をハイライト表示させます。
- (18)Enter キーを押します。
- (19)これで、以下のボックス/ロットカウンタの後半の設定を行うことができます。
- (20)[ここにカウンタを追加] をハイライト表示させます。
- (21)Enter キーを押します。

日付

注記： 正しい日付を印字するためには、プリンタのシステムクロックを設定しておく必要があります。詳しくは、6-35 ページの「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの今日の日付の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、日付を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[日付] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [フォーマット] のテキストボックスに、使用する日付フォーマットを入力します。

日付のフォーマット	説明
d または D	該当の月の日付を 1 から 31 で表示します。
dd または DD	該当の月の日付を 01 から 31 で表示します。
M	月を 1 から 12 で表示します。
MM	月を 01 から 12 で表示します。
MMM	月の名前の短縮形です。 例 :Jan、Feb、Mar など
YY	年を 0 から 99 で表示します。
YYYY	年を 4 桁の数字で表示します。
JJJ	ユリウス歴の日付を 3 桁の数字で表示します。 例 :1 月 1 日 = 001
/ - スペース	日付の区切りです。

- (6) Enter キーを押し、日付フォーマットを確定します。

有効期限

注記： 正しい有効期限を印字するためには、プリンタのシステムク
ロックを設定しておく必要があります。詳しくは、[6-35 ページ](#)
の「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの有効期限の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、有効期限を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[有効期限] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [フォーマット] のテキストボックスに、使用する日付フォーマットを入力します。

日付のフォーマット	説明
d または D	該当の月の日付を 1 から 31 で表示します。
dd または DD	該当の月の日付を 01 から 31 で表示します。
M	月を 1 から 12 で表示します。
MM	月を 01 から 12 で表示します。
MMM	月の名前の短縮形です。 例 :Jan、Feb、Mar など
YY	年を 0 から 99 で表示します。
YYYY	年を 4 桁の数字で表示します。
JJJ	ユリウス歴の日付を 3 桁の数字で表示します。 例 :1 月 1 日 = 001
/ - . _ スペース	日付の区切りです。

- (6) カーソルを移動して、[単位] をハイライト表示します。
- (7) 製造日から有効期限までの期間を測定する単位 (日、月、年) を選択します。
- (8) カーソルを移動して、[有効期限] の値をハイライト表示します。
- (9) 製造日から有効期限までの期間を、日数、月数、または年数で入力します。
- (10) Enter キーを押します。

時刻

注記： 正しい時刻を印字するためには、プリンタのシステムクロックを設定しておく必要があります。詳しくは、6-35 ページの「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの現在時刻の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、時刻を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[時刻] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [フォーマット] のテキストボックスに、使用する時間フォーマットを入力します。

時刻フォーマット に使用される文字	説明
s または ss	0 ～ 59 で秒を表示します。
m または mm	0 ～ 59 で分を表示します。
h	1 ～ 12 で時間を表示します。
hh	01 ～ 12 で時間を表示します。
H	1 ～ 24 で時間を表示します。
HH	01 ～ 24 で時間を表示します。
tt	AM または PM を表示します。

- (6) Enter キーを押します。

文字列

文字列はプリンタの内部メモリに保存されています。メッセージデザインに文字列を挿入することができます。

最大で 5 個までの文字列を作成し、プリンタの内部メモリに保存しておくことができます。

各文字列には 最大 50 文字まで使用することができます。

注記： 文字列の作成方法と更新方法は、[3-79 ページの「文字列の更新と作成」](#)を参照してください。

メッセージデザインへの文字列の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、文字列を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[文字列] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、使用する文字列をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。

カスタム文字列（漢字と特殊文字のテキスト）

カスタム文字列では、漢字やその他の特殊文字を使用することができます。カスタム文字列を作成して保存した後、そのカスタム文字列を選択してメッセージデザインに挿入することができます。

最大で 20 個までのカスタム文字列をプリンタの内部メモリに保存しておくことができます。

注記： カスタム文字列の作成方法と更新方法詳しくは、[3-80 ページの「カスタム文字列の更新と作成」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのカスタム文字列の挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、カスタム文字列を印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[カスタム文字列] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、使用するカスタム文字列をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。

シフトコード

メッセージデザインへのシフトコードの挿入方法

- (1) 新規メッセージの作成時に、シフトコードを印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) キーボードの Insert キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[シフトコード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) 必要な設定を入力します。

設定名	説明
コード	シフトコードの名前を入力します。 最大で 2 文字です。
時刻	シフトコードの開始時間を入力します。

- (6) Enter キーを押します。

PC を使用したメッセージの作成

注記: PC で作成されたメッセージは PC のハードドライブに保存されています。そのため、PC で作成したメッセージを印字するには、PC と G20i の接続を維持してください。

PC を使用した新しいメッセージの使用方法

- (1) PC 上で Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) タスクバーの [デザイン] メニューをクリックします。
- (3) [新規テンプレート] アイコンをクリックします。



- (4) 以下のメッセージテンプレートの設定を行う必要があります。

設定名	説明
名前	メッセージテンプレートを識別するための名前を入力します。
幅	メッセージの幅を入力します。 長さ単位は、ドロップダウンボックスで、センチメートル、ミリメートル、インチまたはピクセルに変更することができます。
高さ	メッセージの高さを入力します。 長さ単位は、ドロップダウンボックスで、センチメートル、ミリメートル、インチまたはピクセルに変更することができます。
グリッド線を表示	メッセージテンプレートデザインのウィンドウにグリッド線を表示するには、[グリッド線を表示] チェックボックスにチェックを入れてください。

- (5) [OK] をクリックします。

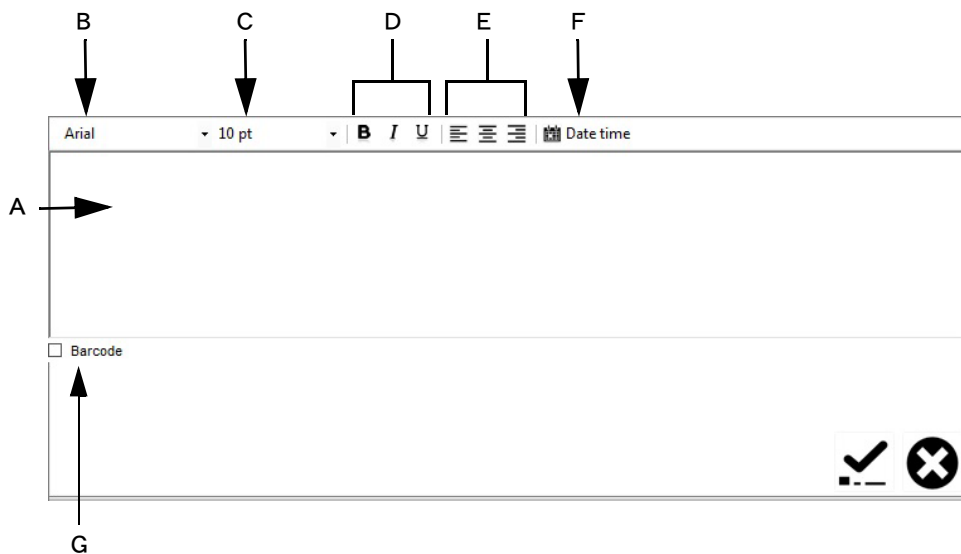
テキスト

メッセージデザインへのテキストフィールドの挿入方法

- (1) [テキスト] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、テキストを配置する位置をクリックします。
 (3) これで、[テキスト] デザインウィンドウが開き、以下の設定を行えるようになります。



テキストデザインウィンドウ

	説明
A	テキストデータ入力エリア。
B	フォントタイプを選択します。
C	フォントサイズを選択します。
D	[太字]、[斜体]、または[下線]のフォントを選択します。
E	テキストの左・中央・右揃え
F	[日付]、[時刻]、または[有効期限]を追加できる設定です。
G	テキストデータをバーコードに変換するには、[バーコード] チェックボックスにチェックを入れます。 詳しくは、 3-33 ページの「バーコード」 を参照してください。

- (4) [チェック] アイコンをクリックして設定を確定します。

バーコード

バーコードの品質を一定に保つために、シャフトエンコーダを使用して製造ラインの速度を測定してください。詳しくは、[6-28 ページの「シャフトエンコーダの接続」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのバーコードの挿入方法

- (1) [テキスト] アイコンをクリックします。



- (2) メッセージデザイン領域で可変バーコードを印字する位置をクリックし、[テキスト] ウィンドウを開きます。
- (3) テキストデザイン領域をクリックして、バーコードデータを入力します。
- (4) [バーコード] チェックボックスにチェックを入れます。
- (5) これで、[バーコード] ウィンドウが開きます。[バーコードタイプ] ドロップダウンメニューで、以下のバーコードタイプから 1 つを選択します。

バーコードタイプ		
Australian Post Customer	Australian Post Customer 2	Australian Post Customer 3
Australian Post Redirection	Australian Post Reply Paid	Australian Post Routing
Aztec	Brazilian CEPNet	CODABAR 2 Widths
CODEBLOCK F	CODE 11	CODE 128
CODE 128 Subset A	CODE 128 Subset B	CODE 128 Subset C
CODE 2 OF 5 DataLogic	CODE 2 OF 5 IATA	CODE 2 OF 5 Industry
CODE 2 OF 5 Interleaved	CODE 2 OF 5 Matrix	CODE 2 OF 5 Standard
CODE 32	CODE 39	CODE 39 Full ASCII
CODE 93	CODE 93 Full ASCII	DAFT Code
DataMatrix	Deutsche Post Identcode	Deutsche Post Leitcode
DotCode	DPD	EAN 13
EAN 13 2 Digits	EAN 13 5 Digits	EAN 14 GTIN14
EAN 8	EAN 8 2 Digits	EAN 8 5 Digits

操作

バーコードタイプ		
EAN UCC 128	FIM	Flattermarken
GS1 128	GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expanded Stacked
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar RSS14	GS1 DataBar Stacked
GS1 DataBar Stacked Omni Directional	GS1 DataBar Truncated	Han Xin
HIBC LIC 128	HIBC LIC 3Of9	HIBC LIC CODABLOCK F
HIBC LIC DataMatrix	HIBC LIC MPDF417	HIBC LIC PDF417
HIBC LIC QRCode	HIBC PAS 128	HIBC PAS 3Of9
HIBC PAS CODABLOCK F	HIBC PAS DataMatrix	HIBC PAS MPDF417
HIBC PAS PDF417	HIBC PAS QRCode	ISBN 13
ISBN 13 5 Digits	ISMN	ISSN
ISSN 2 Digits	Italian Postal 2Of5	Italian Postal 3Of9
ITF 14	Japanese Postal	KIX
Korean Postal Authority	Logmars	MaxiCode
Micro PDF417	Micro QRCode	MSI
NVE18	PDF417	PDF417 Truncated
Pharma Zentralnummer 7	Pharma Zentralnummer 8	Pharmacode One Track
Pharmacode Two Track	Planet 12	Planet 14
Plessey	Plessey Bidirectional	QRCode
QRCode 2005	Reversed 1	Royal Mail 4 State RM4ScC
SSCC 18	Swedish Postal Shipment Item ID	Telepen
TelepenAlpha	UCC 128	UPC 12
UPC A	UPC A 2 Digits	UPC A 5 Digits

操作

バーコードタイプ		
UPC E	UPC E 2 Digits	UPC E 5 Digits
USPS Intelligent Mail	USPS Intelligent Mail Package	USPS Postnet 10 ZIP 4 CD
USPS Postnet 11 ZIP 4 2	USPS Postnet 12 ZIP 4 2 CD	USPS Postnet 5 ZIP
USPS Postnet 6 ZIP CD	USPS Postnet 9 ZIP 4	Vehicle Identification Number

- (6) バーコードの外観を定義するには、[バーコード] ウィンドウ内の設定を使用してください。
- (7) [チェック] アイコンをクリックして設定を確定します。

可変バーコード

可変バーコードは、バーコードの値にカウンタを用います。

メッセージデザインへの可変バーコードの挿入方法

- (1) [シリアルナンバー] アイコンをクリックします。

123

- (2) メッセージデザイン領域で可変バーコードを印字する位置をクリックします。
- (3) これで、[シリアルナンバー] ウィンドウが開きます。可変バーコードの値を定義するには、[シリアルナンバー] ウィンドウ内の以下の設定を使用してください。

設定名	説明
増加開始	昇順の可変バーコード値で、可変バーコード値の開始値を入力します。
減少開始	降順の可変バーコード値で、可変バーコード値の開始値を入力します。
ステップ	可変バーコード値をカウントするステップ間隔の数値を入力します。 たとえば、[ステップ] の値を 5 に設定すると、可変バーコード値のカウントは 5、10、15、20 と進行します。
繰り返し	可変バーコード値を繰り返す回数を入力します。 たとえば、[繰り返し] の値を 5 に設定すると、可変バーコードの値のカウントは 11111、22222、33333、44444 と進行します。
リセット	可変バーコード値のリセット値を入力します。可変バーコード値がリセット値に到達すると、値はリセットされて [増加開始] 値または [減少開始] 値に戻ります。
フォント	ヒューマンリーダブルのフォントを選択します。
サイズ	ヒューマンリーダブルのフォントサイズを選択します。
最小数字長	可変バーコードの最小数字長を指定するには、[最小数字長] チェックボックスにチェックを入れます。

操作

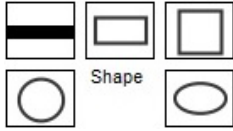
設定名	説明
上位桁にゼロを追加	可変バーコードの値の上位桁にゼロを挿入します。
上位桁にスペースを追加	可変バーコードの値の上位桁にスペースを挿入します。
プレフィックス	可変バーコードの値の先頭に表示されるテキストを追加します。
サフィックス	可変バーコードの値の末尾に表示されるテキストを追加します。

- (4) [バーコード] チェックボックスにチェックを入れます。
- (5) これで、[バーコード] ウィンドウが開きます。バーコードのタイプと外観を指定するには、[バーコード] ウィンドウ内の設定を使用してください。
- (6) [チェック] アイコンをクリックして設定を確定します。

図形

メッセージデザインへの図形の挿入方法

(1) [図形] アイコンをクリックします。




- (2) [直線]、[長方形]、[四角形]、[円形]、または [楕円形] を選択します。
- (3) メッセージデザイン領域で図形を配置する位置をクリックします。
- (4) 図形を左クリックして、図形のサイズを変更するかドラッグで位置を変更します。
- (5) 図形をダブルクリックして、図形のプロパティを変更します。
- (6) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、[デザイン] 画面に戻ります。

画像

メッセージデザインへの画像の挿入方法

- (1) [画像] アイコンをクリックします。



- (2) メッセージデザイン領域で画像を配置する位置をクリックします。
- (3)  アイコンを選択して検索し、必要な画像ファイルを選択します。
- (4) [しきい値] の値を変更して[プレビュー] を選択し、画像の画質が適切になるように調節します。
- (5) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、デザイン画面に戻ります。

シリアルナンバー

メッセージデザインへのシリアルナンバーの挿入方法

- (1) [シリアルナンバー] アイコンをクリックします。

123

- (2) メッセージデザイン領域でシリアルナンバーを配置する位置をクリックします。
- (3) これで、[シリアルナンバー] ウィンドウが開きます。シリアルナンバーの値を定義するには、[シリアルナンバー] ウィンドウ内の以下の設定を使用してください。

設定名	説明
増加開始	昇順のシリアルナンバーで、シリアルナンバーの増加開始値を入力します。
減少開始	降順のシリアルナンバーで、シリアルナンバーの減少開始値を入力します。
ステップ	シリアルナンバーをカウントするステップ間隔の数値を入力します。 たとえば、[ステップ] の値を 5 に設定すると、シリアルナンバーのカウントは 5、10、15、20 と進行します。
繰り返し	シリアルナンバーを繰り返す回数を入力します。 たとえば、[繰り返し] の値を 5 に設定すると、シリアルナンバーのカウントは 11111、22222、33333、44444 と進行します。
リセット	シリアルナンバーのリセット値を入力します。シリアルナンバーがリセット値に到達すると、リセットされて [増加開始] 値または [減少開始] 値に戻ります。
フォント	フォントタイプを選択します。
サイズ	フォントサイズを選択します。
最小数字長	[最小数字長] チェックボックスをチェックして、シリアルナンバーの最小文字数を指定します。

操作

設定名	説明
上位桁にゼロを追加	シリアルナンバーの上位桁にゼロを挿入します。
上位桁にスペースを追加	シリアルナンバーの上位桁にスペースを挿入します。
プレフィックス	シリアルナンバーの先頭に印字されるテキストを追加します。
サフィックス	シリアルナンバーの末尾に印字されるテキストを追加します。

- (4) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、デザイン画面に戻ります。

日付と時刻

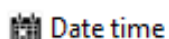
注記: 正しい日付や時刻の値を印字するためには、プリンタのシステムクロックを設定しておく必要があります。詳しくは、[6-35 ページの「プリンタ設定」](#)を参照してください。

メッセージデザインへの今日の日付または現在時刻の挿入方法

- (1) [テキスト] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、日付や時間を配置する位置をクリックします。
- (3) [日付と時刻] アイコンをクリックします。



- (4) 日付または時間のフォーマットを選択するか、カスタムのフォーマットを [カスタム] テキストボックスに入力します。

注記: 日付と時刻のプレビューは、[例] の見出しの下に表示されます。

- (5) [OK] をクリックします。
- (6) [チェック] アイコンをクリックして設定を確定します。

有効期限

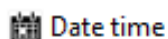
注記: 正しい有効期限を印字するためには、プリンタのシステムク
ロックを設定しておく必要があります。詳しくは、[6-35 ページ](#)
の「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの有効期限の挿入方法

- (1) [テキスト] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、有効期限を配置する位置をクリックします。
- (3) [日付と時刻] アイコンをクリックします。



- (4) 日付のフォーマットを選択するか、カスタムのフォーマットを [カス
タム] テキストボックスに入力します。

注記: 日付と時刻のプレビューは、[例] の見出しの下に表示されます。

- (5) [期限切れ] テキストボックスに、有効期限日までの日数を入力します。
- (6) [OK] をクリックします。
- (7) [チェック] アイコンをクリックして設定を確定します。

シフトコード

メッセージデザインへのシフトコードの挿入方法

- (1) [シフトコード] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、シフトコードを配置する位置をクリックします。
- (3) これで、[シフトコードオプション] ウィンドウが開きます。タスクバーで、フォントタイプ、フォントサイズ、太字、斜体、および下線テキストを指定することができます。
- (4) [シフトコード] テキストボックスに必要なシフトコードを入力します
- (5) 開始時期を 24 時間表記で入力します。
- (6) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、[デザイン] 画面に戻ります。

PC ファイルのデータフィールド

注記: この機能を使用する場合は、G20i PC ソフトウェア経由でプリンタと PC を常に接続しておく必要があります。

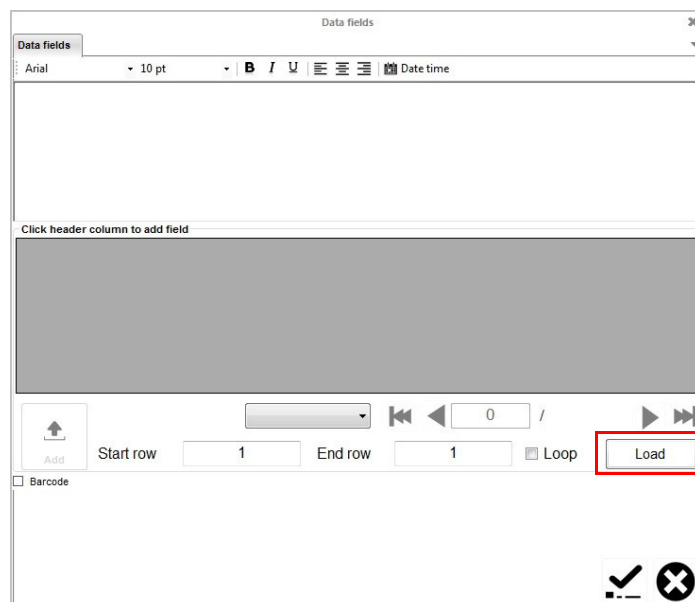
データフィールドを使用すると、各種データベースファイル(テキストファイル、Excel ファイル、CSV ファイル、Access ファイル)内の情報を PC やサーバー経由で印字することができます。データは、テキストとして印字することも、バーコード形式で印字することもできます。

PC 上のデータベースファイルを使用するメッセージデザインにデータフィールドを挿入するための手順

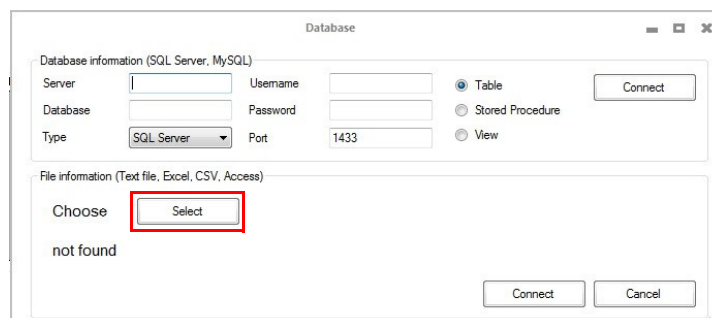
- (1) [データフィールド] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、データフィールドを配置する位置をクリックします。
- (3) [ロード] をクリックします。



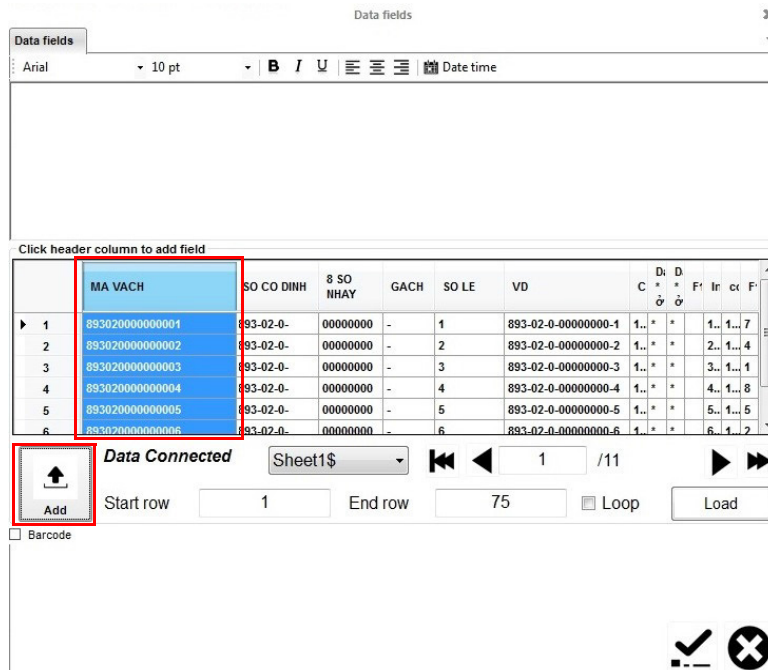
- (4) [選択] をクリックします。



- (5) データベースファイルを選択します。
- (6) [接続] をクリックします。

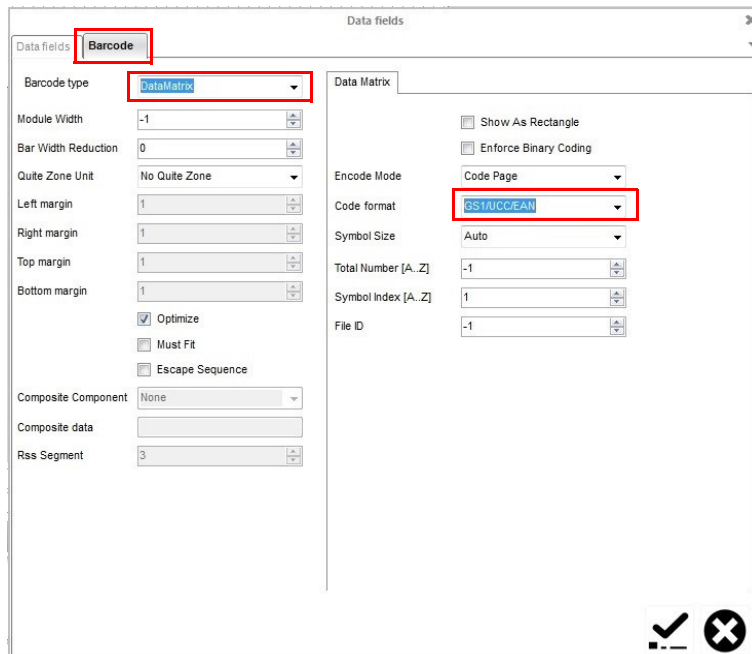
操作

- (7) 印字するデータが含まれている列のヘッダーを選択して [追加] をクリックします。



- (8) バーコード形式でデータを印字するには、[バーコード] チェックボックスにチェックを入れて [バーコード] タブをクリックし、バーコードの設定を定義します。

注記: データマトリックスバーコードの場合は、[GS1 互換] を選択し、各データフィールドの前に表示されているデータのアプリケーション ID 番号を入力します。



- (9) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、[デザイン] 画面に戻ります。

サーバー上のデータフィールド

注記: この機能を使用する場合は、G20i PC ソフトウェア経由でプリンタと PC を常に接続しておく必要があります。

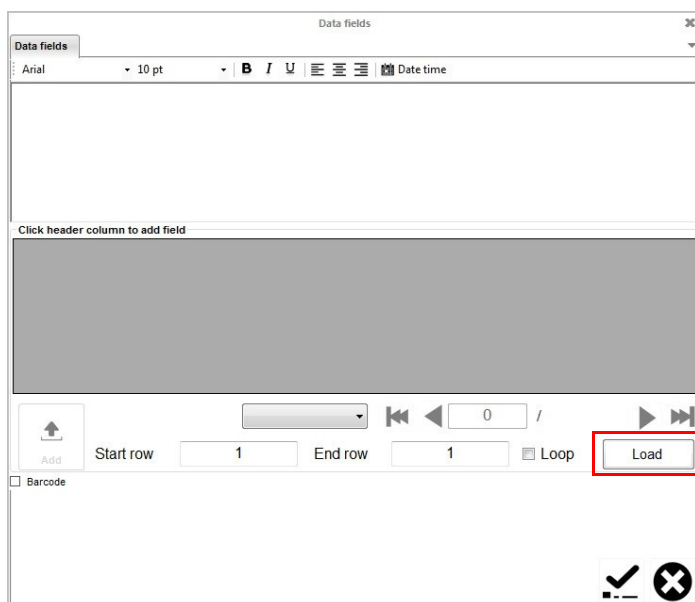
データフィールドを使用すると、各種データベースファイル(テキストファイル、Excel ファイル、CSV ファイル、Access ファイル)内の情報を PC やサーバー経由で印字することができます。データは、テキストとして印字することも、バーコード形式で印字することもできます。

サーバー上のデータベースファイルを使用するメッセージデザインにデータフィールドを挿入するための手順

- (1) [データフィールド] アイコンをクリックします。



- (2) デザイン領域で、データフィールドを配置する位置をクリックします。
- (3) [ロード] をクリックします。



操作

- (4) サーバーのサーバー名、データベース名、サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

Database

Database information (SQL Server, MySQL)

Server: [] Username: []
Database: [] Password: []
Type: SQL Server Port: 1433

Table
 Stored Procedure
 View

Connect

File information (Text file, Excel, CSV, Access)

Choose [Select]
not found

Connect Cancel

- (5) [接続] をクリックします。

Database

Database information (SQL Server, MySQL)

Server: [] Username: []
Database: [] Password: []
Type: SQL Server Port: 1433

Table
 Stored Procedure
 View

Connect

File information (Text file, Excel, CSV, Access)

Choose [Select]
not found

Connect Cancel

- (6) 印字するデータが含まれている列のヘッダーを選択して [追加] をクリックします。

Data fields

Click header column to add field

	MA VACH	SO CO DINH	8 SO NHAY	GACH	SO LE	VD	C	D	D	F	Ir	ct	F
▶ 1	8930200000000001	893-02-0-	00000000	-	1	893-02-0-00000000-1	1..	*	*	*	1..	1..	7
2	8930200000000002	893-02-0-	00000000	-	2	893-02-0-00000000-2	1..	*	*	*	2..	1..	4
3	8930200000000003	893-02-0-	00000000	-	3	893-02-0-00000000-3	1..	*	*	*	3..	1..	1
4	8930200000000004	893-02-0-	00000000	-	4	893-02-0-00000000-4	1..	*	*	*	4..	1..	8
5	8930200000000005	893-02-0-	00000000	-	5	893-02-0-00000000-5	1..	*	*	*	5..	1..	5
6	8930200000000006	893-02-0-	00000000	-	6	893-02-0-00000000-6	1..	*	*	*	6..	1..	2

Data Connected Sheet1\$ 1 /11

Add Start row 1 End row 75 Loop Load

Barcode

✓ ✕

操作

- (7) バーコード形式でデータを印字するには、[バーコード] チェックボックスにチェックを入れて [バーコード] タブをクリックし、バーコードの設定を定義します。

注記: データマトリックスバーコードの場合は、[GS1 互換] を選択し、各データフィールドの前に表示されているデータのアプリケーション ID 番号を入力します。

The screenshot shows the 'Data fields' dialog box with the 'Barcode' tab selected. The 'Barcode type' dropdown is set to 'DataMatrix'. The 'Code format' dropdown is set to 'GS1/UC/EAN'. The 'Data Matrix' section includes options for 'Show As Rectangle', 'Enforce Binary Coding', 'Encode Mode', 'Code Page', 'Symbol Size', 'Total Number [A..Z]', 'Symbol Index [A..Z]', and 'File ID'. The 'Check' icon is highlighted in the bottom right corner.

- (8) [チェック] アイコンを選択して設定を確認し、[デザイン] 画面に戻ります。

POD (印字オンラインデータ)

注記: この機能を使用する場合は、G20i PC ソフトウェア経由でプリンタと PC を常に接続しておく必要があります。

POD オブジェクトを使用すると、バーコードスキャナやネットワーク上の機器から読み込んだデータをプリンタに転送して印字することができます。POD オブジェクトには、最大 20 件の印字可能項目を含めることができます。データは、テキストとして印字することも、バーコード形式で印字することもできます。

注記: POD オブジェクトを挿入する前に、データソースを定義する必要があります。詳細については、[6-56 ページ](#)を参照してください。

POD オブジェクトをメッセージデザイン内に挿入するための手順

- (1) [POD] アイコンをクリックします。



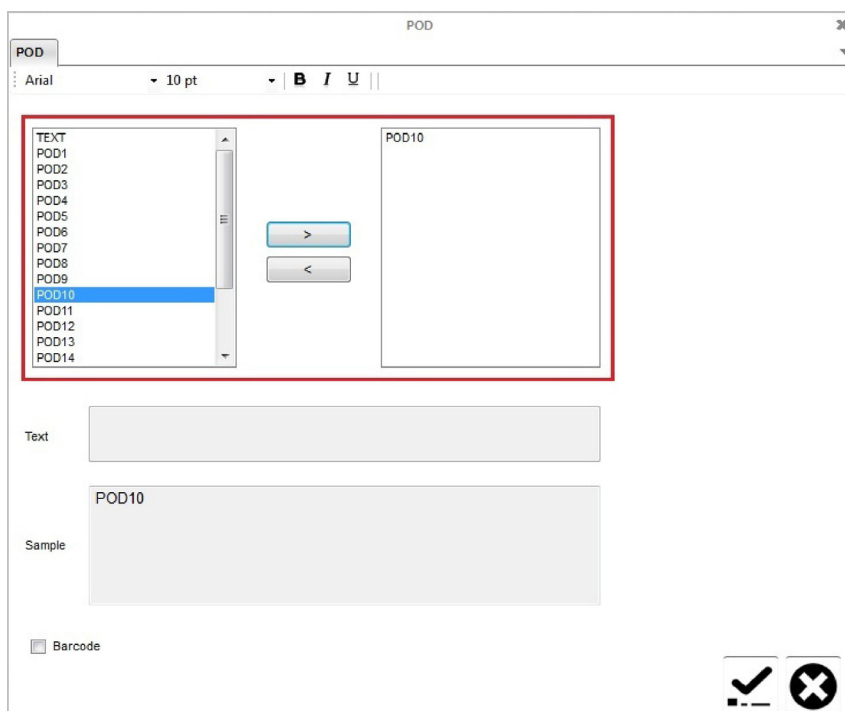
- (2) デザイン領域で、POD を配置する位置をクリックします。

操作

- (3) 左側の列で各データ項目 (POD) を個別に選択して [>] アイコンをクリックし、右側の列で POD オブジェクトの外観を調整します。

注記: (1) [POD1] は、プリンタが最初に受信するデータフィールドです。
[POD2] は、プリンタが 2 番目に受信するデータフィールドです
([POD3] 以降についても同様)。

- (2) [TEXT] 項目では、固定テキスト項目を POD オブジェクト内に入力することができます。必要なテキストを [テキスト] ボックスに入力します。次に、左側の列で [TEXT] を選択して [>] アイコンをクリックします。



- (4) バーコード形式でデータを印字するには、[バーコード] チェックボックスにチェックを入れて [バーコード] タブをクリックし、バーコードの設定を定義します。
- (5) [チェック] アイコンを選択して設定を確定し、[デザイン] 画面に戻ります。

Android デバイスを使用したメッセージの作成

Android デバイスを使用したメッセージの作成方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [メッセージ] を選択します。

テキスト

128 種類すべての ASCII 文字を、テキストとしてメッセージに入力することができます。Android デバイスで漢字またはその他の特殊文字タイプを挿入するには、テキストロゴを使用する必要があります。詳しくは、[3-53 ページの「テキストロゴ \(漢字と特殊文字のテキスト\)」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのテキストフィールドの挿入方法

- (1) [フォントタイプ選択] を押します。
- (2) [通常フォント] または [大文字フォント] のいずれかを選択します。
- (3) [フォントサイズ] を選択します。
- (4) フォントサイズを選択します。

注記: フォントを小さくすると、より多くの行をメッセージに含めることができます。

フォント 1 行 (12.7mm)
フォント 2 行 (5.93mm)
フォント 3 行 (3.89mm)
フォント 4 行 (2.54mm)
フォント 6 行 (1.69mm)

- (5) メッセージでテキストを表示する行を選択します。
- (6) 画面キーボードを使用してテキストを入力します。

テキストロゴ (漢字と特殊文字のテキスト)

Android デバイスで漢字またはその他の特殊文字タイプをメッセージに挿入するには、テキストロゴを使用する必要があります。最大 4 個のテキストロゴを作成し、G20i に保存することができます。

Android デバイスを使用したメッセージへのテキストロゴの作成、保存、挿入方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [ロゴとバーコード] を選択します。
- (3) [テキストロゴ作成] を選択します。
- (4) [任意の言語でテキスト入力] 行に必要なテキストを入力します。
- (5) 必要なフォントを選択します。
- (6) [文字列のフォントサイズ] スライダで、プレビューに表示されるフォントサイズが適切になるように調節します。
- (7) [作成] を選択します。
- (8) [はい] を選択します。
- (9) 必要に応じて、[しきい値] スライダと [高さ] スライダを使用し、プレビューに表示されるロゴの画質と高さが適切になるように調節します。
- (10) [この画像を使用] を選択します。
- (11) 1 ~ 4 のロゴ番号を選択してロゴを保存します。
- (12) [ロゴ更新] を選択します。
- (13) Domino Printer G20i アプリケーションのホーム画面に戻ります。
- (14) [メッセージ] を選択します。
- (15) テキストロゴを配置する位置にカーソルを置きます。
- (16) [ロゴ] アイコンを選択します。
- (17) 必要なロゴ番号を選択します。
- (18) [挿入] を選択します。

バーコード

バーコードの品質を一定に保つために、シャフトエンコーダを使用して製造ラインの速度を測定してください。詳しくは、6-28 ページの「シャフトエンコーダの接続」を参照してください。

メッセージデザインへのバーコードの挿入方法

- (1) バーコードを配置する位置にカーソルを置きます。

注記： 複数行のテキストに印字する場合は、カーソルを最後の行に置きます。これにより、バーコードを完全に印字することができます。

- (2) [コード] アイコンを選択します。
- (3) [内容] を選択します。
- (4) 以下のバーコード設定を行うことができます。

設定名	説明
データ	バーコードデータを入力します。
タイプ	次のオプションから、バーコードのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Code 39 • Code 2 of 5 Interleaved • Code 128 • Code 93 • UPC-A コード • EAN コード • Codabar コード • Code 11
幅	バーコードの幅を選択します。 範囲 : 1 ~ 4
高さ	バーコードの高さを選択します。 範囲 : 1 ~ 3
テキストを有効にする	目視可能文字を [有効] または [無効] にします。

- (5) [挿入] を選択して設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

可変バーコード

メッセージデザインへの可変バーコードの挿入方法

- (1) 可変バーコードを配置する位置にカーソルを置きます。

注記： 複数行のテキストに印字する場合は、カーソルを最後の行に置きます。これにより、バーコードを完全に印字することができます。

- (2) [コード] アイコンを選択します。
 (3) [可変バーコード] を選択します。
 (4) 以下の可変バーコード設定を行うことができます。

設定名	説明
データ方向	カウント方向を [アップ] または [ダウン] から選択します。
ゼロ設定	ゼロを有効または無効にします。
開始値	可変バーコードデータの開始値を入力します。
現在値	現在の可変バーコードの値を表示します。
リセット値	可変バーコード値のリセット値を入力します。可変バーコード値がリセット値に到達すると、可変バーコード値はリセットされて開始の値に戻ります。
ステップ値	可変バーコード値をカウントするステップ間隔の数値を入力します。 たとえば、[ステップ] の値を 5 に設定すると、可変バーコードの値のカウントは 5、10、15、20 と進行します。
プレフィックス値	可変バーコードの値の先頭に表示されるテキストを追加します。
サフィックス値	可変バーコードの値の末尾に表示されるテキストを追加します。

操作

設定名	説明
タイプ	<p>次のオプションから、バーコードのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Code 39 • Code 2 of 5 Interleaved • Code 128 • Code 93 • UPC-A コード • EAN コード • Codabar コード • Code 11
幅	<p>次のオプションから、バーコードの幅を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 • 2 • 3 • 4
高さ	<p>次のオプションから、バーコードの高さを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 • 2 • 3
テキストを有効にする	<p>目視可能文字を [有効] または [無効] にします。</p>

(5) [挿入] を選択して設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

時刻

注記： 正しい時刻を印字するためには、プリンタのシステムクロックを設定しておく必要があります。詳しくは、6-35 ページの「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの現在時刻の挿入方法

- (1) 時間を配置する位置にカーソルを置きます。
- (2) [時刻] アイコンを選択します。
- (3) 時間のフォーマットをテキストボックスに入力します。

時刻のフォーマット	説明
h	時間を 12 時間表記の 1 から 12 で表示します。
hh	時間を 12 時間表記の 01 から 12 で表示します。
H	時間を 24 時間表記の 0 から 23 で表示します。
HH	時間を 24 時間表記の 00 から 23 で表示します。
m	分を 0 から 59 で表示します。
mm	分を 00 から 59 で表示します。
s	秒を 0 から 59 で表示します。
ss	秒を 00 から 59 で表示します。
/ - . _ スペース	時刻の区切りです。
tt	AM または PM を表示します。

- (4) [挿入] を選択してフォーマットの設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

日付

注記： 正しい日付を印字するためには、プリンタのシステムクロックを設定しておく必要があります。詳しくは、6-35 ページの「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの今日の日付の挿入方法

- (1) 日付を配置する位置にカーソルを置きます。
- (2) [日付] アイコンを選択します。
- (3) [日付] を選択します。
- (4) 日付のフォーマットをテキストボックスに入力します。

日付の フォーマット	説明
d または D	該当の月の日付を 1 から 31 で表示します。
dd または DD	該当の月の日付を 01 から 31 で表示します。
M	月を 1 から 12 で表示します。
MM	月を 01 から 12 で表示します。
MMM	月の名前の短縮形です。 例 :Jan、Feb、Mar など
YY	年を 0 から 99 で表示します。
YYYY	年を 4 桁の数字で表示します。
JJJ	ユリウス歴の日付を 3 桁の数字で表示します。 例 :1 月 1 日 = 001
/ - . _ スペース	日付の区切りです。

- (5) [挿入] を選択して日付のフォーマットを確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

有効期限

注記： 正しい有効期限を印字するためには、プリンタのシステムク
ロックを設定しておく必要があります。詳しくは、6-35 ページ
の「[プリンタ設定](#)」を参照してください。

メッセージデザインへの有効期限の挿入方法

- (1) 有効期限を配置する位置にカーソルを置きます。
- (2) [日付] アイコンを選択します。
- (3) [有効期限] を選択します。
- (4) [有効期限の日数を指定] テキストボックスに、有効期限日までの日
数を入力します。
- (5) [フォーマットを指定] テキストボックスに日付のフォーマットを入
力します。

日付の フォーマット	説明
d または D	該当の月の日付を 1 から 31 で表示します。
dd または DD	該当の月の日付を 01 から 31 で表示します。
M	月を 1 から 12 で表示します。
MM	月を 01 から 12 で表示します。
MMM	月の名前の短縮形です。 例 :Jan、Feb、Mar など
YY	年を 0 から 99 で表示します。
YYYY	年を 4 桁の数字で表示します。
JJJ	ユリウス歴の日付を 3 桁の数字で表示します。 例 :1 月 1 日 = 001
/ - . _ スペース	日付の区切りです。

- (6) [挿入] を選択して有効期限のフォーマットを確定し、メッセージデ
ザイナーに戻ります。

シングルカウンタ

停電が発生した場合、電源復旧後にカウンタはシャットダウンした時点からカウントを再開します。

メッセージデザインへのカウンタの挿入方法

- (1) カウンタを配置する位置にカーソルを置きます。
- (2) [カウンタ] アイコンを選択します。
- (3) [シングル] を選択します。
- (4) 以下のカウンタ設定を行うことができます。

設定名	説明
カウンタ番号を選択	カウンタの最大桁数を 0 から 5 の間で選択します。
開始値	カウンタの開始の値を入力します。
現在値	カウンタの現在の値を入力します。
リセット値	カウンタのリセット値を入力します。カウンタがリセット値に到達すると、リセットされて開始の値に戻ります。
カウントステップ	カウンタのステップ間隔の数値を入力します。たとえば、[カウントステップ] の値を 5 に設定すると、カウントは 5、10、15、20 と進行します。
ゼロ表示	上位桁ゼロの [オン] と [オフ] の切り替えができます。
方向	カウントアップするには、[アップ] を選択してください。 カウントダウンするには、[ダウン] を選択してください。

- (5) [挿入] を選択して設定を確認し、メッセージデザイナーに戻ります。

ボックス/ロットカウンタ

デュアルカウンタであるボックス/ロットカウンタを使用して、ボックス番号とロット番号を印字することができます。

停電が発生した場合、電源復旧後にカウンタはシャットダウンした時点からカウントを再開します。

メッセージデザインへのボックス/ロットカウンタの挿入方法

- (1) カウンタを配置する位置にカーソルを置きます。
- (2) [カウンタ] アイコンを選択します。
- (3) [ボックス/ロット] を選択します。
- (4) 以下のカウンタ設定を行うことができます。

設定名	説明
ボックス/ロット 1	1つのボックス/ロットカウンタを印字する場合は、ボックス/ロット 1 を選択します。
ボックス/ロット 2	2つのボックス/ロットカウンタを印字する場合は、ボックス/ロット 1 を選択します。
カウンタ 1 と 2 の設定	それぞれのカウンタの設定を行うことができます。 開始値 カウンタの開始の値を入力します。 現在値 カウンタの現在の値を入力します。 リセット値 カウンタのリセット値を入力します。カウンタがリセット値に到達すると、カウンタの値は開始の値に戻り、再びカウントを始めます。 カウントステップ カウンタのステップ間隔の数値を入力します。たとえば、[ステップ]の値を 5 に設定すると、カウントは 5、10、15、20 と進行します。
ゼロ表示	上位桁ゼロの [オン] と [オフ] の切り替えができます。
方向	カウントアップするには、[アップ] を選択してください。 カウントダウンするには、[ダウン] を選択してください。

- (5) [挿入] を選択して設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

シフトコード

メッセージデザインへのシフトコードの挿入方法

- (1) シフトコードを印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) [シフト] アイコンを選択します。
- (3) 設定テーブルで、シフトコードを 5 つまで設定することができます。

設定名	説明
シフトコード 0、1、または 2	3 つのシフトコードに対して、それぞれ異なるタイムテーブルを設定、保存することができます。シフトコード 0、1、2 のいずれかを選択してください。
1 列目	シフトコードの名前を入力します。
2、3 列目	シフトコードの開始時間を入力します。

- (4) [挿入] を選択して設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

ロゴ

最大 4 つのロゴをプリンタの内部メモリに保存できます。保存されたロゴはメッセージデザインに挿入することができます。

保存済みの 4 つのロゴの更新方法詳しくは、[3-75 ページの「ロゴの更新」](#)を参照してください。

メッセージデザインへのロゴの挿入方法

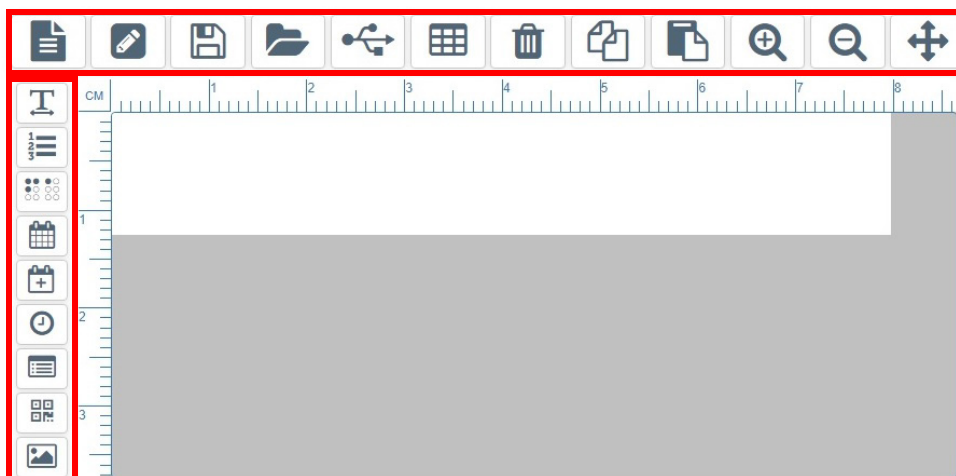
- (1) ロゴを印字する位置にカーソルを置きます。
- (2) [ロゴ] アイコンを選択します。
- (3) 1 ~ 4 のロゴ番号を選択します。
- (4) [挿入] を選択してロゴの設定を確定し、メッセージデザイナーに戻ります。

WEB メッセージデザインツール

メッセージの作成

Web デザインツールを使用してメッセージを作成するための手順

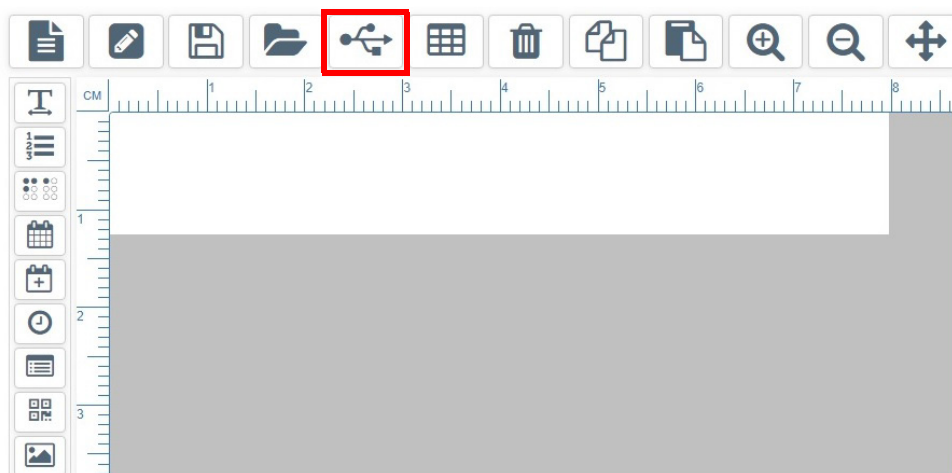
- (1) PC でインターネットブラウザを起動します。
- (2) インターネットブラウザに「www.design.dominocasecoding.com」と入力します。
- (3) 画面上の各種ツールを使用してメッセージを作成します。



メッセージのエクスポート

Web デザインツールで作成したメッセージをエクスポートするための手順

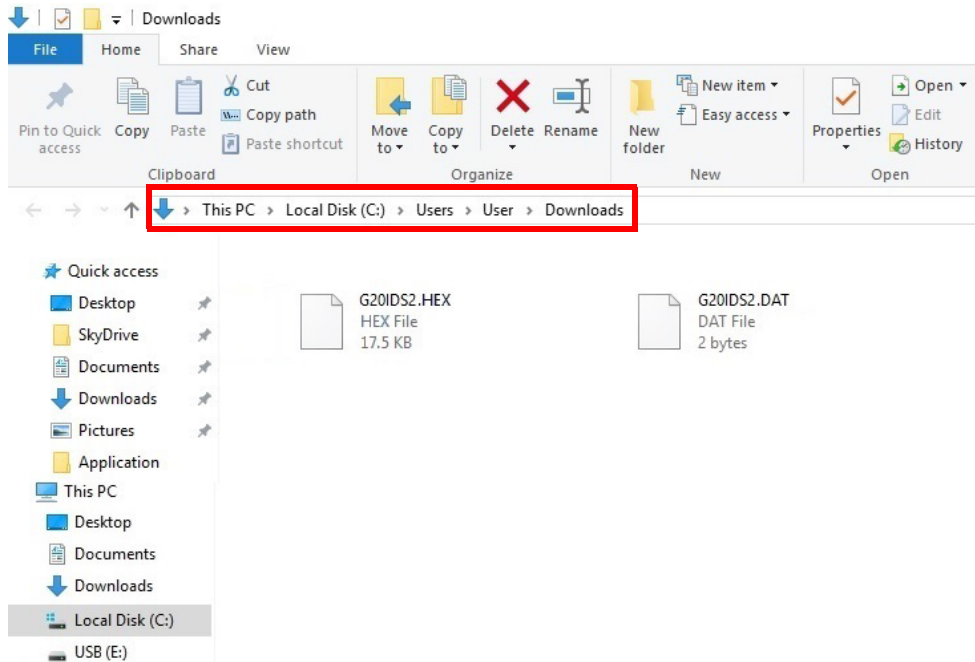
- (1) USB メモリデバイスを PC に接続します。
- (2) [USB] アイコンをクリックします。



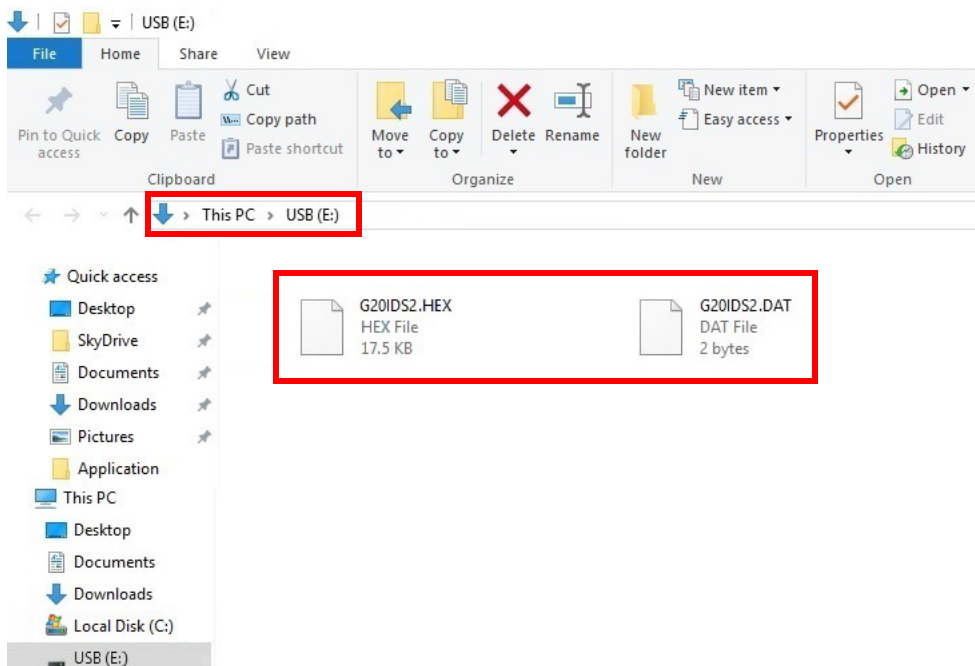
- (3) [許可] をクリックします。

操作

(4) [ダウンロード] フォルダを起動します。



(5) 新しい .HEX ファイルと .DAT ファイルを USB メモリデバイスにコピーします。



(6) USB メモリドライブを PC から取り外します。

USBメモリからのメッセージ印字



警告: 防護メガネをかけてください。

注記: この操作を行う場合は、ワイヤレス USB キーボードが必要になります。

Web デザインツールで作成したメッセージを印字するための手順

- (1) .HEX ファイルと .DAT ファイルが保存されている USB メモリデバイスを、プリンタの USB フラッシュソケットに挿入します。

注記: 印字処理が完了するまで、USB メモリデバイスを取り外さないでください。



- (2) プリンタのメインメニューでカーソルを移動して、[メッセージ] をハイライト表示します。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) カーソルを移動して [Free Design] をハイライト表示します。
- (5) Enter キーを押します。
- (6) カーソルを移動して [ロード] をハイライト表示します。
- (7) Enter キーを押します。
- (8) カーソルを移動して、[運転開始] をハイライト表示します。
- (9) Enter キーを押します。

メッセージの確認と編集

ワイヤレス USB キーボードの使用

注記： ワイヤレス USB キーボードを使用してメッセージフィールドを編集することはできません。メッセージフィールドを削除し、新しいメッセージフィールドを作成してください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの開封と編集方法

- (1) メインメニューで、[メッセージ] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) [開く] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) 編集するメッセージをハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) [編集] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) 矢印キーを使用して、編集するフィールドの末尾にカーソルを移動します。
- (10) Backspace キーを押してフィールドを削除します。
- (11) キーボードを使用して新しいテキストを入力するか、Insert キーを押して異なるタイプのデータを挿入します。
- (12) 新しいフィールドの作成が完了したら、Esc キーを押します。
- (13) Enter キーを押し、メッセージを保存します。

PC の使用

PC を使用したメッセージの確認と編集方法

- (1) PC 上で Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) ツールバーから [デザイン] メニューを開きます。
- (3) [開く] アイコンを選択します。
- (4) 編集するメッセージを開きます。
- (5) [開く] を選択します。
- (6) [OK] を選択します。
- (7) 編集するメッセージフィールドをダブルクリックします。
- (8) 選択したフィールドの設定画面が開き、フィールドの編集が可能になります。
- (9) [チェック] アイコンを選択してフィールドの編集を完了し、メッセージデザイナーに戻ります。

Android デバイスの使用

注記：(1) Android デバイスで作成された最近のメッセージのみ確認できます。

(2) Android デバイスを使用してメッセージフィールドを編集することはできません。メッセージフィールドを削除し、新しいメッセージフィールドを作成してください。

Android デバイスを使用したメッセージの確認と編集方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを起動します。
- (2) [メッセージ] を選択します。
- (3) [最近使用したもの] を選択します。
- (4) [最近のメッセージ] リストからメッセージを選択します。
- (5) 編集するメッセージフィールドを削除します。
- (6) 削除したフィールドの代わりとなる新規メッセージフィールドを作成します。

メッセージフィールドの編集

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用してメッセージフィールドを編集することはできません。メッセージフィールドを削除し、新しいメッセージフィールドを作成してください。

PC の使用

PC を使用したメッセージフィールドの編集方法

- (1) 編集するメッセージフィールドをダブルクリックします。
- (2) これで、選択したメッセージフィールドの設定画面が開きます。
- (3) [チェック] アイコンを選択してメッセージフィールドの編集を完了し、メッセージデザイナーに戻ります。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用してメッセージフィールドを編集することはできません。メッセージフィールドを削除し、新しいメッセージフィールドを作成してください。

メッセージフィールドの削除

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの削除方法

- (1) 削除するフィールドの末尾にカーソルを移動します。
- (2) キーボードの Backspace キーを押します。

PC の使用

PC を使用したメッセージフィールドの削除方法

- (1) 削除するメッセージフィールドをクリックします。
- (2) キーボードの Delete キーを押すか、タスクバーの [削除] アイコンをクリックします。



Android デバイスの使用

Android デバイスを使用したメッセージの削除方法

- (1) 削除するメッセージをハイライト表示させます。
- (2) Delete キーまたは Backspace キーを使用してメッセージフィールドを削除します。

メッセージフィールドのコピー

ワイヤレス USB キーボードの使用

注記: この機能は利用できません。

PC の使用

PC を使用したメッセージのコピー方法

- (1) コピーするメッセージフィールドをクリックします。
- (2) タスクバーの [コピー] アイコンをクリックします。



- (3) タスクバーの [貼り付け] アイコンをクリックします。



- (4) コピーしたメッセージフィールドを任意の位置にドラッグアンドドロップします。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用したメッセージフィールドのコピー方法

- (1) コピーするメッセージをハイライト表示させます。
- (2) [コピー] アイコンを選択します。
- (3) コピーしたメッセージフィールドを貼りつける位置にカーソルを置きます。
- (4) [ペースト] アイコンを選択します。

メッセージの保存

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの保存方法

注記： ワイヤレス USB キーボードを使用して作成されたメッセージは、G20i の内部メモリに保存されます。

- (1) Esc キーを押します。
- (2) [保存] をハイライト表示します。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) メッセージを保存するファイルの名前を入力します。
- (5) Enter キーを押します。

PC の使用

PC を使用したメッセージの保存方法

注記： PC を使用して作成されたメッセージは、PC のハードドライブに保存されます。

- (1) [テンプレートを保存] アイコンを選択します。



- (2) [ファイル名] のテキストボックス内に、メッセージの名前を入力します。
- (3) [保存] を選択します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用したメッセージの保存方法

注記： (1) Android デバイスを使用して作成されたメッセージは、印字のために送信することによってのみ保存できます。

- (2) メッセージを印字のために送信することによって、G20i が現在印字中のメッセージはすべて上書きされます。

- (1) メッセージデザイナーで、[メッセージを送信] アイコンを選択します。



- (2) [送信] を選択します。

メッセージの削除

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの削除方法

- (1) メインメニューで、[メッセージ] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[開く] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) 削除するメッセージをハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) カーソルを移動して、[削除] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。

PC の使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したメッセージの削除方法

- (1) PC で Windows Explorer を開きます。
- (2) 保存済みのメッセージファイルがある場所に移動します。
- (3) 必要なメッセージファイルを選択します。
- (4) [削除] ボタンを押します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用してメッセージの削除を行うことはできません。

ロゴの更新

ワイヤレス USB キーボードと PC の使用

ロゴの変換

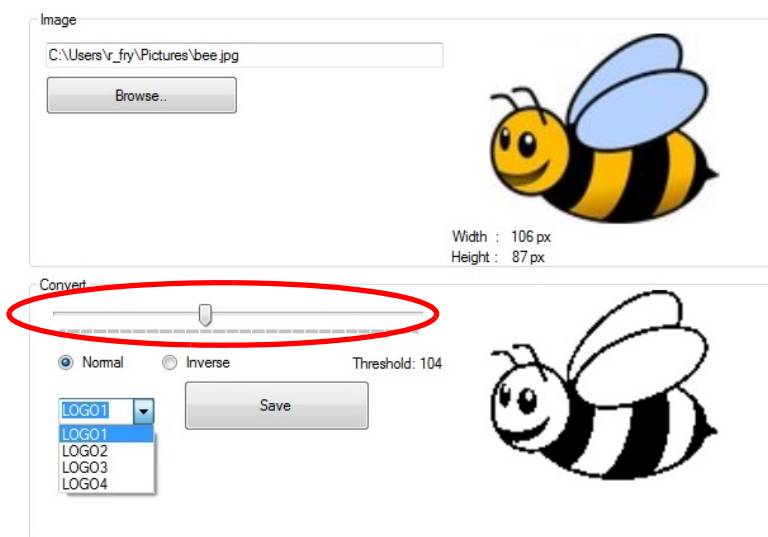
プリンタで使用するロゴや画像は、.hex 形式に変換されている必要があります。

注記：(1) ロゴ変換ツールは .BMP .JPG .GIF .TIF の各ファイル形式に対応しています。

(2) 画像のサイズは、150 × 1600 ピクセル以下である必要があります。

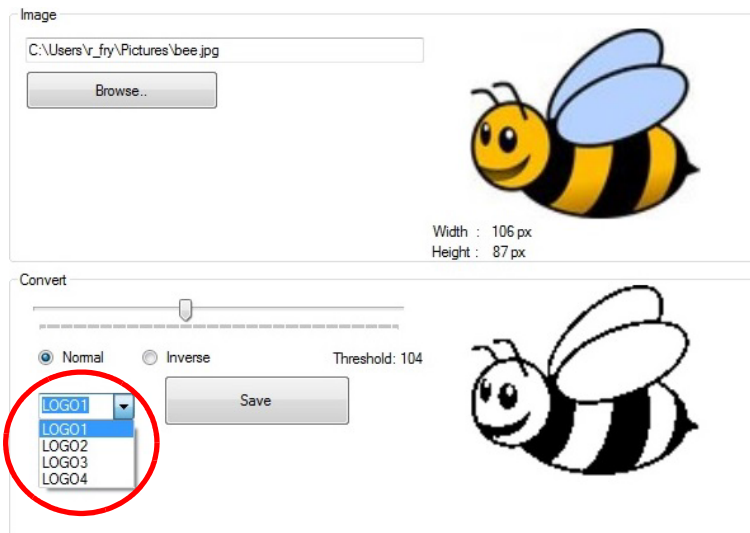
ロゴの変換方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [ツール] メニューを開きます。
- (3) [ロゴ変換] をクリックします。
- (4) [参照] をクリックします。
- (5) ロゴまたは画像ファイルのある場所に移動してファイルを選択します。
- (6) [開く] をクリックします。
- (7) [しきい値] スライダーを使用してプレビュー画像の画質が適切になるように調節します。



操作

(8) LOGO1、LOGO2、LOGO3 または LOGO4 の中からロゴ名を選択します。



(9) [保存] をクリックします。

(10) 変換したロゴを USB フラッシュメモリに保存します。

ロゴの更新

プリンタ上でのロゴの更新方法

- (1) ロゴのファイル形式をプリンタで使用できるファイル形式に変換します。詳しくは、[3-75 ページの「ロゴの変換」](#)を参照してください。
- (2) ロゴファイルの入った USB フラッシュメモリを G20i の USB フラッシュメモリ用ポートに挿入します。
- (3) プリンタのメインメニューで、ワイヤレス USB キーボードを使用してカーソルを下に移動し、[設定] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを下に移動し、[ロゴ更新] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) 更新するロゴの名前をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押して、プリンタの内部メモリに入っているロゴを USB フラッシュメモリ内のロゴに更新します。
- (9) USB フラッシュメモリをプリンタから切断します。
- (10) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

Android デバイスの使用

Android デバイスからのロゴの更新方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [ロゴとバーコード] を選択します。
- (3) [ロゴ更新] を選択します。
- (4) [画像選択] を選択します。
- (5) Android デバイスのメモリから、使用する画像を選択します。
- (6) 必要に応じて、[しきい値] スライダーと [高さと幅] スライダーを使用し、プレビューに表示されるロゴの画質とサイズが適切になるように調節します。
- (7) [この画像を使用] を選択します。
- (8) 1 ~ 4 のロゴ番号を選択してロゴを保存します。
- (9) [ロゴ更新] を選択します。

文字列の更新と作成

注記: この作業には、ワイヤレス USB キーボードが必要です。

文字列を G20i に保存し、ワイヤレス USB キーボードを使用してメッセージデザインに挿入することができます。最長 50 文字の文字列を 5 つまで保存できます。

メッセージデザインへの文字列の挿入方法詳しくは、[3-28 ページの「文字列」](#)を参照してください。

G20i に保存されている文字列の作成または更新方法

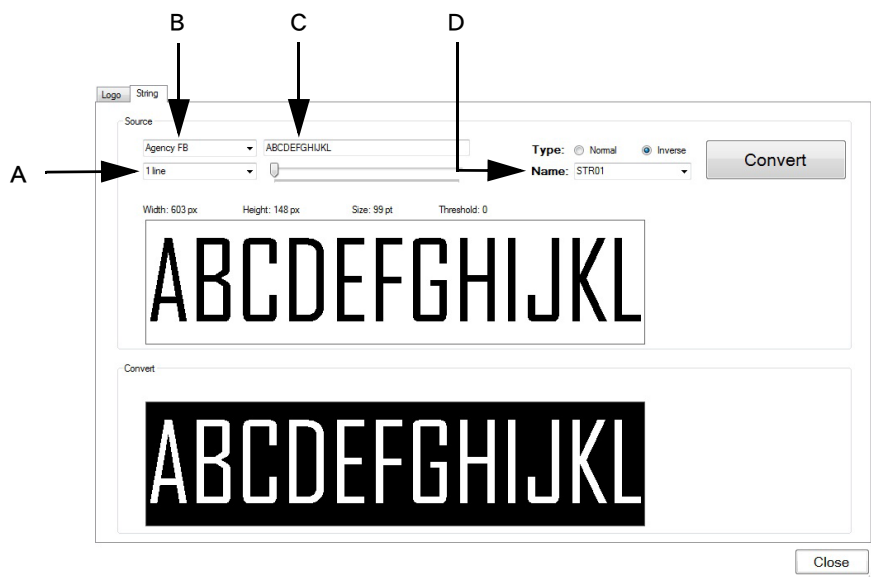
- (1) プリンタのメインメニューで、ワイヤレス USB キーボードを使用してカーソルを下に移動し、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを下に移動し、[文字列] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) ウィンドウが開き、5 つの文字列を入力することができます。それぞれの列は異なる文字列です。更新する文字列にカーソルを移動します。
- (6) Backspace キーを押して文字列のデータを削除します。
- (7) キーボードを使用して新しい文字列のデータを入力します。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

カスタム文字列の更新と作成

カスタム文字列では、漢字やその他の特殊文字を使用することができます。カスタム文字列を作成して保存した後、そのカスタム文字列を選択してメッセージデザインに挿入することができます。最大で 20 個までのカスタム文字列をプリンタの内部メモリに保存しておくことができます。

カスタム文字列の作成または更新方法

- (1) USB フラッシュメモリを PC の USB ポートに挿入します。
- (2) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (3) [ツール] メニューを開きます。
- (4) [ロゴ変換] をクリックします。
- (5) [文字列] タブをクリックします。
- (6) これで、以下のような [文字列] 設定ウィンドウが開きます。



文字列設定ウィンドウ

A	フォントサイズ。
B	フォントタイプ。
C	文字列のデータ。
D	文字列の名前。

- (7) 文字列の設定が完了したら、[変換] をクリックして文字列を保存します。
- (8) USB フラッシュメモリの場所に移動します。
- (9) [OK] をクリックします。
- (10) USB フラッシュメモリを PC から外します。

操作

- (11)G20i の USB フラッシュメモリ用ポートに USB フラッシュメモリを挿入します。
- (12)プリンタのメインメニューで、ワイヤレス USB キーボードを使用してカーソルを下に移動し、[設定] をハイライト表示させます。
- (13)Enter キーを押します。
- (14)カーソルを移動して、[カスタム文字列] をハイライト表示させます。
- (15)Enter キーを押します。
- (16)更新するカスタム文字列の名前をハイライト表示させます。
- (17)Enter キーを押します。
- (18)USB フラッシュメモリをプリンタから切断します。
- (19)Esc キーを押してメインメニューに戻ります。
- (20)これで、カスタム文字列がメッセージに挿入できるようになりました。詳しくは、[3-29 ページの「カスタム文字列（漢字と特殊文字のテキスト）」](#)を参照してください。

インクコスト計算機能

注記: インクコスト計算機能を使用する場合は、ワイヤレス USB キーボードが必要になります。

インクコスト計算機能を使用するための手順

- (1) 使用するインクのコストを計算するためのメッセージをロードします。
詳しくは、[3-14 ページ](#)を参照してください。
- (2) [メインメニュー] で、[メッセージ] をハイライト表示します。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) カーソルを移動して、[インクコスト] をハイライト表示します。
- (5) Enter キーを押します。
- (6) 以下の情報が表示されます。

メッセージ名	
インクタイプ:	現在のインクタイプを表示します。
解像度:	現在の印字解像度を表示します。
密度:	現在の印字密度を表示します。
インクレベル:	インクカートリッジの最大容量を表示します。
最大印字回数:	実行可能な印字処理の最大回数を表示します。
価格:	インクカートリッジの価格を入力します。
印字回数:	印字するメッセージ数を入力します。
インクコスト:	使用するインクのコストを表示します。

- (7) カーソルを移動して、[価格] をハイライト表示します。
- (8) インクカートリッジの価格を入力します。
- (9) カーソルを移動して、[印字回数] をハイライト表示します。
- (10) 印字するメッセージ数を入力します。
- (11) Enter キーを押します。
- (12) [インクコスト] 設定に、印字処理全体で使用するインクのコストが表示されます。
- (13) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。9

第 4 章 : 故障の検出

目次

	ページ
トラブルシューティング	4-3
ハードウェアのエラーメッセージ	4-3
ファームウェアのエラーメッセージ	4-3
ソフトウェアのエラーメッセージ	4-3
印字不良	4-4

故障の検出

このページは意図的に空白にしております

トラブルシューティング

ハードウェアのエラーメッセージ

以下の表を使ってハードウェアの故障を診断し、対処してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
画面に「カートリッジがありません」と表示される	インクカートリッジのプリント基板とプリンタが接続されていません。	インクカートリッジを取り外し、プリンタに再度挿入してください。 インクカートリッジの接続部を洗浄してください(5-6 ページ)。
印字されない	内部製品センサが汚れています。	内部製品センサの洗浄を行ってください。

ファームウェアのエラーメッセージ

以下の表を使ってファームウェアの故障を診断し、対処してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
言語やその他のアップデートに失敗した	F12 キーが押されています。	F12 キーを押してください。
印字結果が正しくない	以前に行われた不明な設定がプリンタに影響を及ぼしています。	G20i を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

ソフトウェアのエラーメッセージ

以下の表を使ってソフトウェアの故障を診断し、対処してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
印字開始位置が正しくない	ウイルス対策ソフトなどのソフトウェアプログラムが PC とプリンタの間の通信に干渉しています。	干渉しているソフトウェアプログラムを無効にするか、アンインストールしてください。

印字不良

以下の表を使って印字不良を診断し、対処してください。

問題	例	対応策
印字面が印字対象物から離れすぎています。		印字品質が改善するまで、プリントヘッドを近づけてください。
印字面が印字対象物に接触しています。		印字品質が改善するまで、プリントヘッドを離してください。
印字面が傾いています。		プリントノズル列が印字対象物の前端に対して平行であることを確認してください。
プリントノズルが印字対象物の移動方向と平行になっていません。		プリントノズルの向きを製品の移動方向に対して垂直にしてください。
印字面のノズルが詰まっています。		印字面を拭くか、ページを行ってください。改善しない場合、インクカートリッジを交換してください。
文字の上半分または下半分がぼやけています。		プリントノズルは製品の移動方向に対して垂直になっていますが、印字面と印字対象物は平行ではありません。
エンコーダがずれているか、内部の速度設定が適切ではありません。		エンコーダの取り付け状態を確認してください。速度設定を確認してください。
印字が薄すぎます。		印字解像度または印字密度を上げてください。
印字が濃すぎるか、印字対象物にインクが付きすぎています。または、インクの消費量が多すぎます。		印字解像度または印字密度を下げてください。

第 5 章：メンテナンス

目次

	ページ
インクカートリッジのメンテナンス	5-3
インクカートリッジの保存	5-3
インクカートリッジの洗浄	5-4
インクカートリッジの洗浄が必要な理由	5-4
インクカートリッジのプリントヘッドを洗浄する	5-5
インクカートリッジの接続部を洗浄する	5-6
手動でノズルのパージを行う	5-7
自動でノズルのパージを行う	5-8
自動でノズルの切り替えを行う	5-9
ファームウェアの更新	5-11
使用言語の更新	5-12
工場出荷時のデフォルト設定にリセットする	5-13
プリンタのバックアップと復元	5-14
バックアップ	5-14
復元	5-15

メンテナンス

このページは意図的に空白にしております

インクカートリッジのメンテナンス

インクカートリッジの保存

印字サイクルの中断は印字品質の低下につながります。動作しない状態が長期間続くとインクが蒸発し、ノズルプレートやノズル室で硬化します。硬化したインクでノズル室が詰まることによって、インクの射出が阻害されたり、誤った方向へインクが射出されたりする恐れがあります。

水性、エタノール系のインクはそれぞれカバーを取り外したままにできる期間が異なります。

水性インクで、印字サイクル中に 2 時間未満の休止を行うなど、使用しない期間が短い場合は措置を取る必要はありません。その場合、カートリッジはプリントヘッド内に入れたままで構いません。

エタノール系インクの場合は使用しているインクによって異なります。通常、印字サイクル中に 10 分から 60 分間動作しない時間がある場合は、カバーを取り付ける必要があります。1 度目から完璧な印字を行うために、運転再開前にノズル面を乾いたケバの無いティッシュで拭き、可能な場合はテストメッセージの印字を数回行ってください。ページ設定を動作設定に組み込むこともできます。ページ設定を行うことにより、拭き掃除の回数を減らすことができます。

どちらのインクも、上記の期間を超えて使用しない場合はカートリッジを取り外し、ノズルにカバーを付けてインクの乾燥を防ぐ必要があります。長期間使用しない状態が続いた後に動作を再開させる場合は、再開前にノズル面を拭き、テスト印字を数回行ってください。

インクの流体力学的な性質は室温によって変化します。カートリッジは必ず化学物質安全データシート (MSDS) に記載されている温度範囲で使用してください。

インクカートリッジの洗浄

使用環境が清潔でない場合、プリントヘッドやプリントカートリッジが汚れ、印字メッセージの品質に影響を及ぼす可能性があります。

インクカートリッジの洗浄が必要な理由

- ノズルプレートに付着して硬化したインクは、インク射出の妨害や制限の原因となります。水性、エタノール系のインクはそれぞれカバーを取り外したままにできる期間が異なります。しかし、すべてのインクにおいて、非動作時でカバーを装着していない間にノズルプレート上でインクの硬化が始まる可能性があります。
- 製造ラインから混入した使用環境の塵、埃等（例：印字対象物の紙粉、ほこり、噴射したインク）はプリントヘッドやプリントカートリッジに蓄積します。結果として、ノズルが汚れで詰まったり、プリントヘッドとカートリッジの間の電気接点が妨げられたりする可能性があります。
- 印字対象物によるノズル面の摩擦によりノズルが損傷し、製造中にノズルが詰まる可能性があります。

プリントヘッドとカートリッジを可能な限り清潔に保ってください。印字対象物の紙粉や、インクの残留物、その他の製造中に蓄積しうる汚れがないようにしてください。

インクカートリッジを取り付けて製造を始める前に、インクカートリッジの洗浄を行うことをお奨めします。洗浄を行うことによって、印字前にノズル面から残留インクを取り除くことができます。

インクカートリッジのプリントヘッドを洗浄する



警告： 防護メガネをかけてください。

- 注意：**
- (1) プリントヘッドの損傷を防ぐため、無理な力を加えないでください。
 - (2) インクカートリッジを振ったり、強く握ったりしないでください。
 - (3) プリントヘッドノズルの詰まりを防ぐため、ケバの無い布と純水を使用してください。

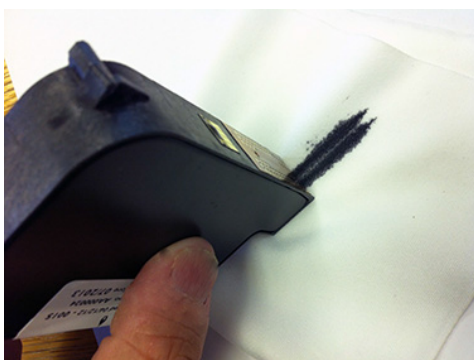
インクカートリッジの洗浄手順

- (1) ケバの無い布を、純水で湿らせます。
- (2) インクカートリッジをワイプに沿って力を入れずに拭きます。



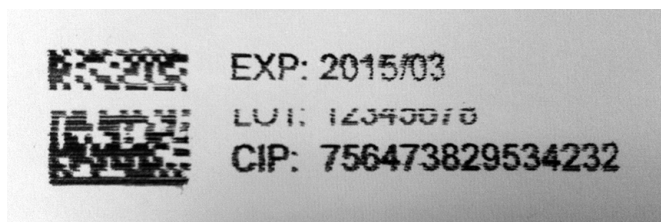
- (3) 布の上に2本のはっきりとした濃いインクの線が見られるまで、ワイプに沿ってインクカートリッジを拭きます。

注記： インクカートリッジを拭く際は、毎回新品のワイプを使用してください。



インクカートリッジの接続部を洗浄する

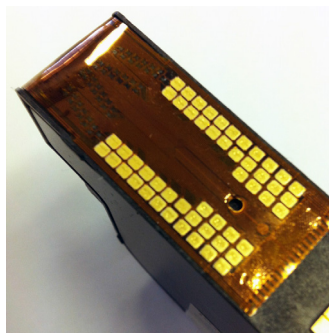
以下の写真のように、プリントヘッドのノズル列がインクを射出しなくなる場合があります。



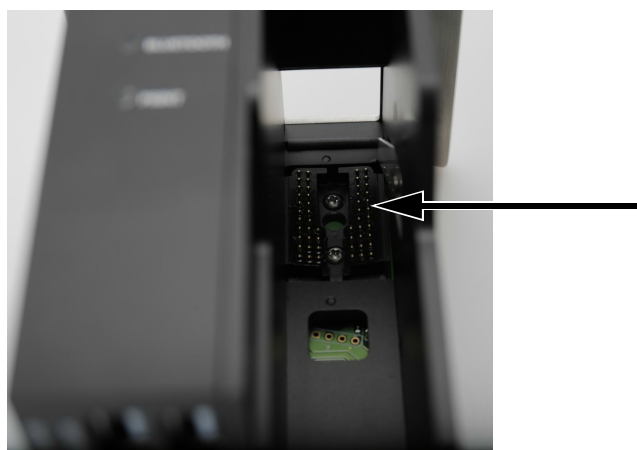
このような場合、インクカートリッジへ信号を送っている電気接続部の汚れによって、通信が妨害されている可能性があります。

インクカートリッジの洗浄手順

- (1) プリントヘッドからカートリッジを取り外します。
- (2) 接続部の金色の金属板をケバの無い布に沿って優しく拭きます。



- (3) プリンタ内の接続部をケバの無い布で優しく拭きます。



手動でノズルのパージを行う

プリントヘッドノズルが詰まり、プリントヘッドの洗浄を行っても目詰まりが解決しなかった場合、別の手段としてパージを行うことができます。パージでは、強制的にノズルからインクを射出することで汚れを取り除きます。パージでノズルの汚れが落ちない場合、インクカートリッジを交換する必要があります。

注記： プリンタの非動作時に、自動的にインクカートリッジノズルのパージを行うよう設定することもできます。詳しくは、5-8 ページの「自動でノズルのパージを行う」を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

ワイヤレス USB キーボードを使用したインクカートリッジのパージ方法

- (1) プリンタのメインメニューで、カーソルを下に移動し [操作] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを下に移動し [パージ] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。

PC の使用



警告： 防護メガネをかけてください。

PC を使用したインクカートリッジのパージ方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [ツール] メニューを開きます。
- (3) [パージ] をクリックします。

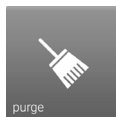
Android デバイスの使用



警告： 防護メガネをかけてください。

Android デバイスを使用したインクカートリッジのパージ方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [パージ] を選択します。



- (3) [今すぐパージ] を選択します。

自動でノズルのパージを行う

プリントヘッドノズルでのインクの乾燥を防ぐため、プリンタの非動作時に定期的にインクカートリッジノズルの自動パージを行うよう設定することもできます。

ワイヤレス USB キーボードを使用して自動ノズルパージの設定を行う

ワイヤレス USB キーボードを使用した自動ノズルパージの設定方法

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) [ランダムジェット] をハイライト表示します。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [状態] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) [有効] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) [時刻] をハイライト表示させます。
- (10) 適切な時間の値 (ノズルパージを行う時間間隔) を入力します。
- (11) Enter キーを押します。
- (12) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC を使用して自動ノズルパージの設定を行う

PC を使用した自動ノズルパージの設定方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [ランダムジェット] サブメニューで [自動ジェット] をクリックします。
- (4) [時間] で、ノズルのパージを実行する間隔を設定します。

Android デバイスを使用して自動ノズルパージの設定を行う

Android デバイスを使用した自動ノズルパージの設定方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [パージ] を選択します。
- (4) [パージを有効にする] チェックボックスにチェックを入れます。
- (5) 適切な [印字開始時間 (秒)] (ノズルパージを行う時間間隔) の値を入力します。
- (6) アプリケーションのホーム画面に戻ります。

自動でノズルの切り替えを行う

プリントヘッドには 2 つのノズルバンクが付いています。ノズルの寿命を長くするため、毎回片方または両方のノズルバンクを使うのではなく、G20i は印字ごとにノズルバンクを切り替えることができます。

ワイヤレス USB キーボードを使用して自動ノズル切り替えの設定を行う

ワイヤレス USB キーボードを使用した自動ノズル切り替えの設定方法

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) [印字面] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [選択] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) [自動] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) [値] をハイライト表示させます。
- (10) 一方のノズル列からもう一方のノズル列に切り替えるまでに実行する印字処理の回数を入力します。
- (11) Enter キーを押します。
- (12) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC を使用して自動ノズル切り替えの設定を行う

注記： 600 DPI で印字を行っている場合、PC からこの機能の設定を行うことはできません。600 DPI での印字には、両方のノズルバンクが必要です。

PC を使用した自動ノズル切り替えの設定方法

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [ノズルの切り替え] サブメニューで [はい] をクリックします。
- (4) [回数] で、一方のノズル列からもう一方のノズル列に切り替えるまでに実行する印字処理の回数を設定します。

Android デバイスを使用して自動ノズル切り替えの設定を行う

Android デバイスを使用した自動ノズル切り替えの設定方法

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字面] を選択します。
- (4) [手動モード] チェックボックスのチェックを外します。
- (5) [自動変更値] テキストボックスに、特定のノズルバンクを別のノズルバンクに切り替えるまでに実行する印字処理の回数を設定します。
- (6) [OK] を選択します。

ファームウェアの更新

注意: プリンタファームウェアの更新が行われている間は、プリンタの電源を切ったり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。

- 注記: (1) この作業には、容量 4 GB 未満の、空の USB フラッシュメモリが必要です。
- (2) この作業には、プリンタの操作を行うためにワイヤレス USB キーボードが必要です。
- (3) プリンタに保存されているすべてのデータや設定は、ファームウェアの更新後に失われます。

プリンタファームウェアの更新方法

- (1) ファームウェアファイルを PC にダウンロードします。
- (2) USB フラッシュメモリを PC の USB ポートに挿入します。
- (3) 新しいファームウェアファイルを USB フラッシュメモリにコピーします。
- (4) USB フラッシュメモリを PC から外します。
- (5) 電源ケーブルとワイヤレス USB キーボードを除くすべての入出力デバイスを G20i から外してください。
- (6) G20i からインクカートリッジを取り外します。
- (7) G20i の USB フラッシュメモリ用ポートに USB フラッシュメモリを挿入します。
- (8) プリンタのメインメニューで、ワイヤレス USB キーボードを使用してカーソルを下に移動し [設定] をハイライト表示させます。
- (9) Enter キーを押します。
- (10) カーソルを移動して、[情報] をハイライト表示させます。
- (11) Enter キーを押します。
- (12) カーソルを移動して、[ファームウェアの更新] をハイライト表示させます。
- (13) Enter キーを押します。
- (14) カーソルを移動して、[はい] をハイライト表示させます。
- (15) Enter キーを押します。
- (16) 更新の完了まで、最長で 10 分かかります。
- (17) 更新が完了したら、Esc キーを押してプリンタのメインメニューに戻ります。
- (18) F12 キーを押します。
- (19) G20i の言語ファイルの更新が必要な場合は、USB フラッシュメモリを G20i から抜かずに [5-12 ページ](#) の「使用言語の更新」の手順に従ってください。言語ファイルの更新の必要がない場合は、ここで USB フラッシュメモリを G20i から外してください。

使用言語の更新

注記： この作業には、プリンタの操作を行うためにワイヤレス USB キーボードが必要です。

プリンタで使用する言語の更新方法

- (1) プリンタのファームウェアを更新します。詳しくは、[5-11 ページの「ファームウェアの更新」](#)を参照してください。
- (2) プリンタのメインメニューでカーソルを移動して、[設定] をハイライト表示させます。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) カーソルを移動して、[言語] をハイライト表示させます。
- (5) Enter キーを押します。
- (6) カーソルを移動して、使用する言語をハイライト表示させます。
- (7) Enter キーを押します。
- (8) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。
- (9) F12 キーを押します。

工場出荷時のデフォルト設定にリセットする

注記: この作業には、ワイヤレス USB キーボードが必要です。

G20i を工場出荷時のデフォルト設定にリセットする方法

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[デフォルト] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[はい] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。

プリンタのバックアップと復元

バックアップ

注記: この操作を実行する場合は、ワイヤレス USB キーボードと USB メモリデバイスが必要になります。

注記: 空の USB メモリデバイスを使用することをお勧めします。

フォント、ロゴ、言語、プリンタの設定を USB メモリデバイスにバックアップするための手順

- (1) USB メモリデバイスを、プリンタの USB フラッシュソケットに挿入します。



- (2) プリンタのメインメニューで、[設定] をハイライト表示します。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) [USB にバックアップ] をハイライト表示します。
- (5) Enter キーを押します。

復元

注記: この操作を実行する場合は、ワイヤレス USB キーボードと USB メモリデバイスが必要になります。

フォント、ロゴ、言語、プリンタの設定をプリンタに復元するための手順

- (1) 復元する設定が保存されている USB メモリデバイスを、プリンタの USB フラッシュソケットに挿入します。



- (2) プリンタのメインメニューで、[設定] をハイライト表示します。
- (3) Enter キーを押します。
- (4) [USB から復元] をハイライト表示します。
- (5) Enter キーを押します。

メンテナンス

このページは意図的に空白にしております

第 6 章：設置

目次

	ページ
取り付け	6-3
開梱	6-3
同梱内容	6-3
G20i のコンベアへの取り付け	6-8
G20i のアース	6-11
電源ケーブルの接続	6-12
ワイヤレス USB キーボードの接続	6-13
インクカートリッジの取り付け	6-14
PC 接続とソフトウェアのインストール	6-16
ドライバ署名強制の無効化	6-18
手動によるドライバのインストール	6-19
Android デバイスの接続	6-20
手動による Android アプリのインストール	6-21
入力接続	6-22
NPN 入力信号接続	6-22
外付製品センサ	6-23
NPN 製品センサの接続	6-23
PNP 製品センサの接続	6-24
プッシュ - プル製品センサの接続	6-25
出力接続	6-26
NPN 出力信号接続	6-26
アラームビーコンの接続	6-27
シャフトエンコーダの接続	6-28
シャフトエンコーダのホイールの直径	6-29
シャフトエンコーダのセットアップ	6-30
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-30
PC の使用	6-30
内部製品センサ	6-31
内部製品センサの補正	6-32
印字密度、印字解像度、印字速度	6-34
プリンタ設定	6-35
システムクロックの設定	6-35
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-35
PC の使用	6-35

設置

Android デバイスの使用	6-35
長さ単位の設定	6-36
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-36
PC の使用	6-36
Android デバイスの使用	6-36
印字方向の設定	6-37
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-37
PC の使用	6-37
Android デバイスの使用	6-38
印字密度の設定	6-39
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-39
PC の使用	6-39
Android デバイスの使用	6-39
印字解像度 (DPI) の設定	6-40
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-40
PC の使用	6-40
Android デバイスの使用	6-41
印字速度の設定	6-42
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-42
PC の使用	6-42
Android デバイスの使用	6-43
製品センサタイプの設定	6-44
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-44
PC の使用	6-44
Android デバイスの使用	6-45
印字開始位置の設定	6-46
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-46
PC の使用	6-46
Android デバイスの使用	6-47
印字モードの設定	6-48
ワイヤレス USB キーボードの使用	6-48
PC の使用	6-50
Android デバイスの使用	6-51
パスワード保護の設定	6-52
RS-485 通信	6-53
RS-485 配線接続	6-53
複数のプリンタを 1 台の PC に接続	6-53
複数のプリンタを 1 台の PLC に接続	6-54
プリンタの RS-485 の設定	6-54
POD (印字オンラインデータ) の設定	6-56

取り付け

開梱





梱包材から G20i とアクセサリを取り出します。

内容を同梱内容リストで確認して、相違があればすぐにご購入先に連絡してください。

同梱内容

数量	説明
1	 <p data-bbox="655 1010 1161 1043">G20i サーマルインクジェットプリンタ</p>
1	 <p data-bbox="794 1424 1002 1458">ベースクランプ</p>
2	 <p data-bbox="852 1816 970 1850">クランプ</p>

設置

数量	説明
1	 <p data-bbox="730 629 938 663">耐衝撃クランプ</p>
1	 <p data-bbox="726 1016 943 1050">19 x 300mm 丸棒</p>
1	 <p data-bbox="751 1375 970 1408">19 x 200mm 丸棒</p>
5	 <p data-bbox="662 1749 1002 1783">六角穴付きネジ 8 x 20mm</p>



設置

数量	説明
2	 <p>六角穴付きネジ 8 x 15mm</p>
3	 <p>六角穴付きネジ 4 x 10mm</p>
1	 <p>ワイヤレス USB キーボード</p>
1	 <p>USB A-B ケーブル</p>

設置

数量	説明
1	 <p>電源アダプタ</p>
1	 <p>アース線と M3x5 ネジ</p>
1	 <p>ドライバ</p>

設置

数量	説明
1	 <p data-bbox="799 622 1018 658">6mm 六角レンチ</p>
1	 <p data-bbox="799 1008 1018 1043">3mm 六角レンチ</p>

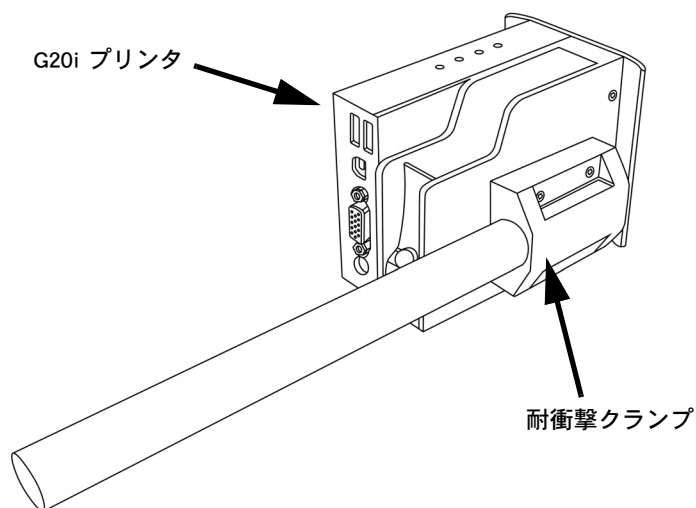
G20i のコンベアへの取り付け

必要な工具：

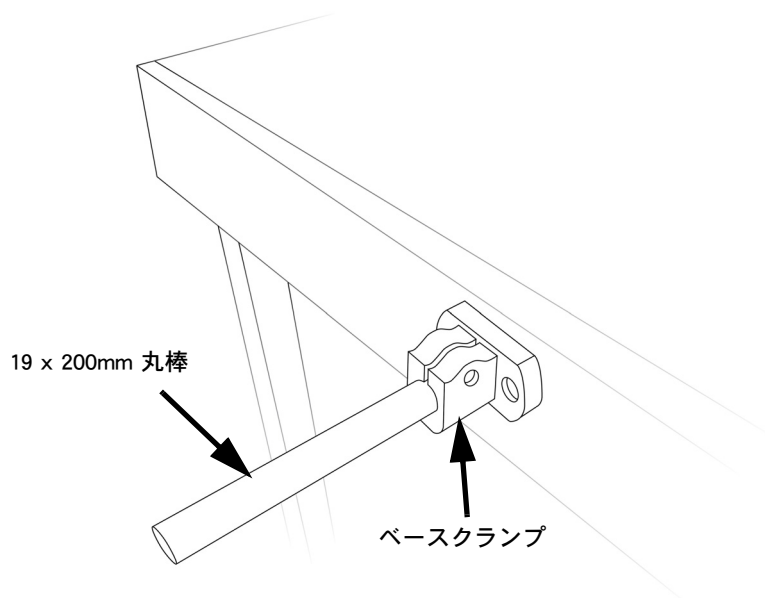
- 3mm 六角レンチ
- 6mm 六角レンチ

G20i のコンベアへの取り付け手順

(1) 耐衝撃クランプを G20i の側面に取り付けます。

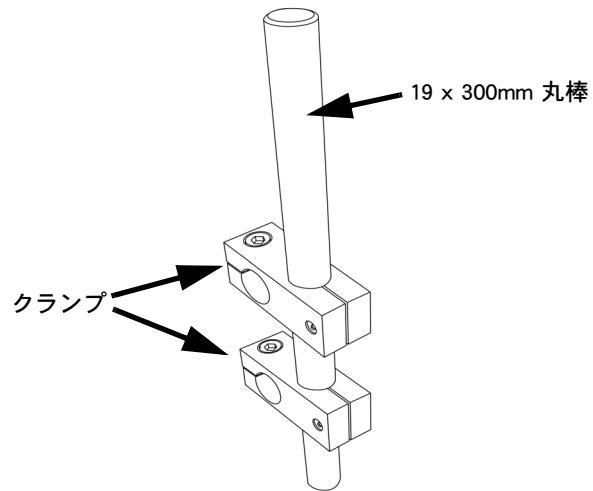


(2) ベースクランプと 19 x 200mm 丸棒をコンベアの側面に取り付けます。

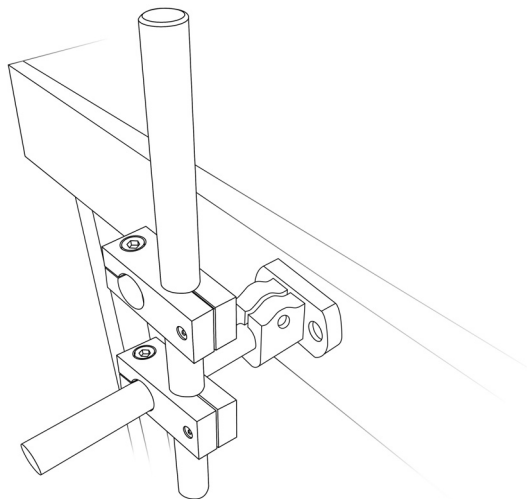


設置

- (3) クランプ 2 つを 19 x 300mm 丸棒にスライドさせます。

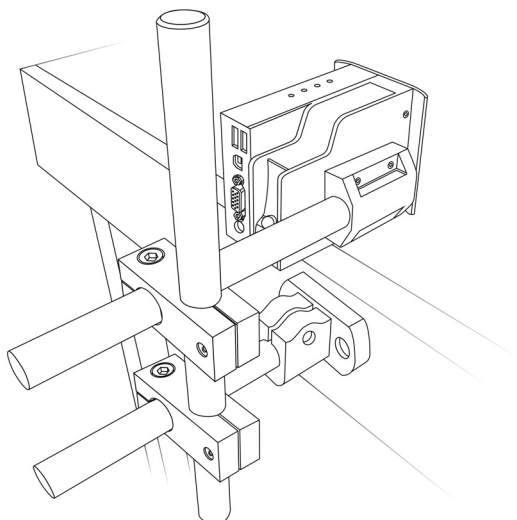


- (4) クランプを付けた 19 x 300mm 丸棒を 19 x 200mm 丸棒に取り付けます。

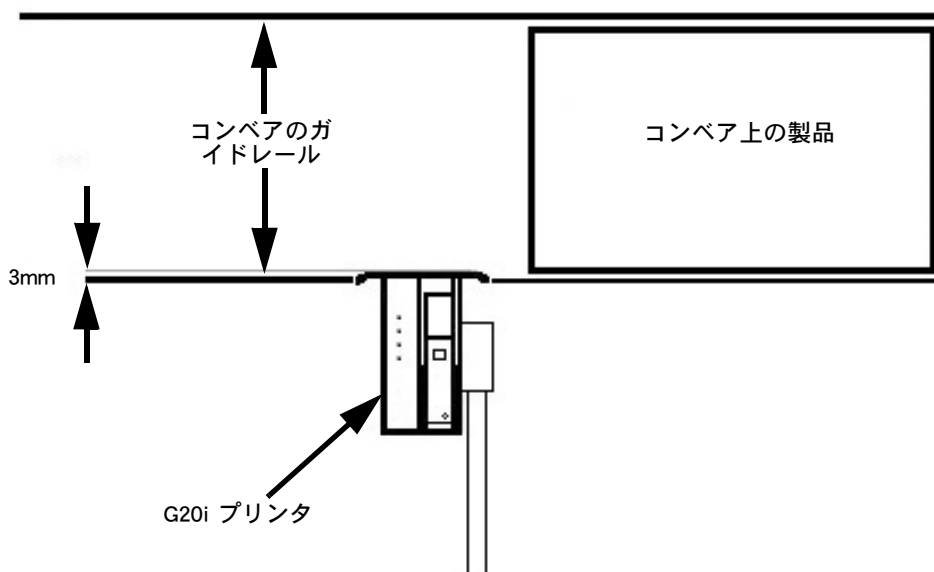


設置

- (5) G20i と耐衝撃クランプを 19 x 300mm 丸棒に取り付けます。



- (6) プリンタの位置を、コンベアのガイドレールより 3mm 離すよう調整します。



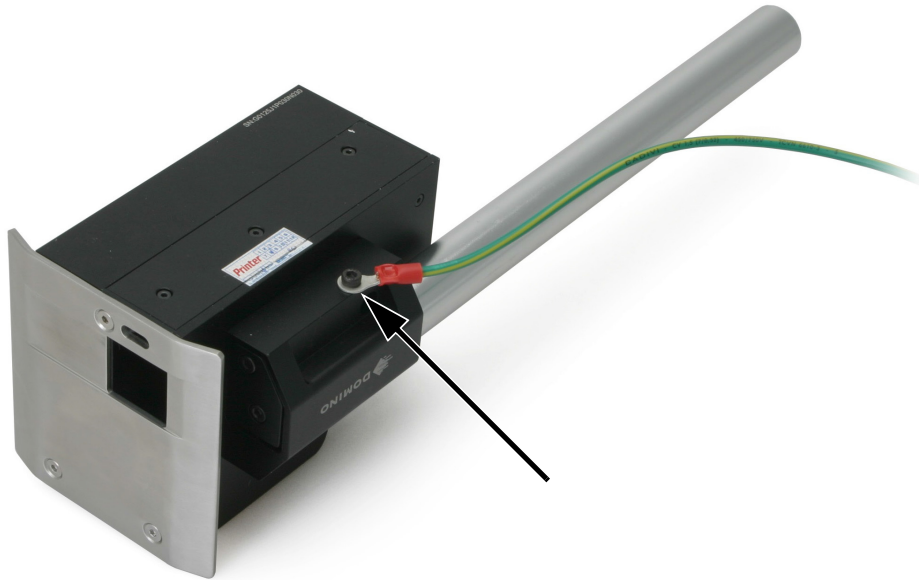
- (7) すべてのネジを固定します。

設置

G20i のアース

G20i のアース手順

- (1) アース線を耐衝撃クランプの下側にある接地点に M3x5 ネジで取り付けます。



G20i 接地点

- (2) アース線のもう一方の端を適切な接地点に取り付けます。

電源ケーブルの接続

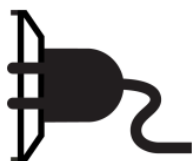
注意： 必ず付属の電源アダプタを使用してください。

- (1) 電源アダプタを 12V DC ソケットに接続します。



電源アダプタの接続

- (2) 電源アダプタを壁のコンセントまたはその他の電源に差し込みます。



設置

ワイヤレス USB キーボードの接続

- (1) USB キーボードのレシーバーをプリンタの USB キーボード用ポートに差し込みます。



ワイヤレス USB キーボードレシーバー

- (2) キーボードの電池収納部に単 4 電池 2 本をセットします。



ワイヤレス USB キーボードの電池

- (3) キーボードの電源を入れます。



ワイヤレス USB キーボードのオン/オフスイッチ

インクカートリッジの取り付け

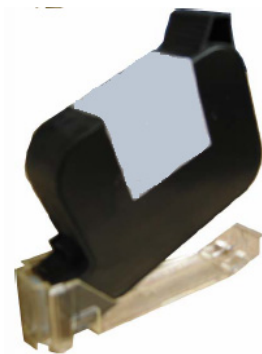
インクカートリッジの G20i への取り付け手順

- (1) プリンタ背面のラッチを開きます。



インクカートリッジのラッチ

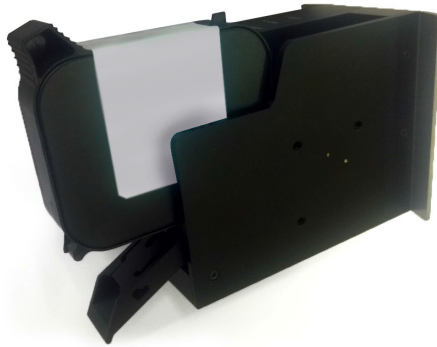
- (2) インクカートリッジからキャップを取り除きます。



インクカートリッジのキャップ

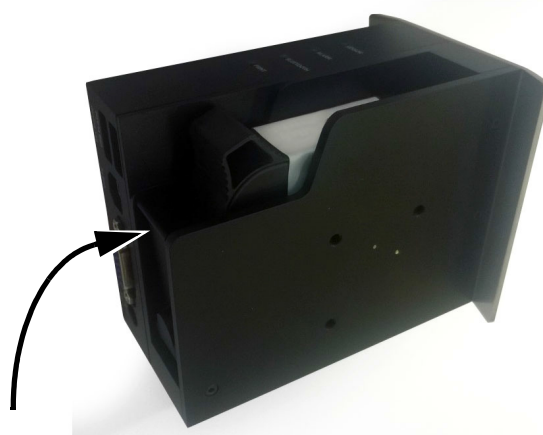
設置

(3) インクカートリッジをプリンタに差し込みます。



インクカートリッジを差し込む

(4) プリンタ背面のラッチを閉じます。



インクカートリッジのラッチを閉じる

設置

PC 接続とソフトウェアのインストール

- 注記：(1) プリンタと PC との接続をセットアップするには、ワイヤレス USB キーボードが必要です。
- (2) コンピュータの OS が 64 ビット版の Windows 8 または 10 の場合、ドライバをインストールする前にドライバの署名の強制を無効にする必要があります。詳しくは、[6-18 ページの「ドライバ署名強制の無効化」](#)を参照してください。

G20i の PC への接続手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアとドライバファイルを PC 上の場所に保存します。
- (2) PC を G20i の USB PC スロットに USB A-B ケーブルで接続します。



PC から G20i への接続図

- (3) G20i を起動します。

設置

- (4) ワイヤレス USB キーボードを使用して、プリンタのメインメニューで、カーソルを下に移動し [運転] をハイライト表示させます。
- (5) Enter キーを押します。
- (6) カーソルを移動して、[PC を接続] をハイライト表示させます。
- (7) Enter キーを押します。
- (8) PC は G20i の接続を検出し、ドライバソフトウェアのインストールを行います。画面上の指示に従ってください。
- (9) PC が自動でドライバをインストールしない場合、ドライバを手動でインストールする必要があります。詳しくは、[6-19 ページの「手動によるドライバのインストール」](#)を参照してください
- (10) Domino G20i セットアッププログラムを PC で起動して、画面上の指示に従ってください。

ドライバ署名強制の無効化

G20i が接続される PC が 64 ビット版の Windows 8 または 10 のオペレーションシステムを使用している場合、ドライバの署名強制を無効にする必要があります。

Windows 8

Windows 8 でドライバ署名の強制を無効にする手順

- (1) PC のキーボードにある Windows キーを押しながら C キーを押します。
- (2) [設定] をクリックします。
- (3) [PC 設定の変更] をクリックします。
- (4) [全般] をクリックします。
- (5) [PC の起動をカスタマイズする] で、[今すぐ再起動する] をクリックします。
- (6) 再起動したら、[トラブルシューティング] をクリックします。
- (7) [詳細オプション] をクリックします。
- (8) [起動の設定] をクリックします。
- (9) [再起動] をクリックします。
- (10) 再起動したら、PC のキーボードの F7 キーを押してドライバ署名強制を無効にします。
- (11) これでコンピュータが再起動し、その後ドライバをインストールできるようになります。

Windows 10

Windows 10 でドライバ署名の強制を無効にする手順

- (1) [Windows スタート] アイコンをクリックします。
- (2) [電源] をクリックします。
- (3) PC のキーボードの Shift キーを押しながら [再起動] をクリックします。
- (4) 再起動したら、[トラブルシューティング] をクリックします。
- (5) [詳細オプション] をクリックします。
- (6) [起動の設定] をクリックします。
- (7) [再起動] をクリックします。
- (8) 再起動したら、PC のキーボードの F7 キーを押してドライバ署名強制を無効にします。
- (9) これでコンピュータが再起動し、その後ドライバをインストールできるようになります。

手動によるドライバのインストール

手動による G20i ドライバのインストール手順

- (1) PC 上で Windows のスタートアイコンを選択します。
- (2) [コンピュータ] を右クリックして [管理] を選択します。
- (3) 左のサイドバーから [デバイスマネージャー] を選択します。
- (4) [サーマルインクジェットコーダー] を右クリックして [ドライバソフトウェアの更新] を選択します。
- (5) [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] を選択します。
- (6) ドライバソフトウェアの位置を選択します。
- (7) [次へ] を選択します。
- (8) 画面に表示される指示に従ってドライバをインストールしてください。

Android デバイスの接続

注記: Android デバイスの接続をセットアップするには、ワイヤレス USB キーボードが必要です。

Android デバイスの接続手順

- (1) プリンタのメインメニューで、ワイヤレス USB キーボードを使用してカーソルを下に移動し、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[Bluetooth] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [アクティブ] が、[有効] に設定されていることを確認してください。
- (6) カーソルを移動して、[名前] をハイライト表示させます。
- (7) プリンタの識別に使用される名前を入力します。
- (8) カーソルを移動して、[PIN] をハイライト表示させます。
- (9) プリンタへのアクセスに使用される PIN 番号を入力します。
- (10) Enter キーを押します。
- (11) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。
- (12) Domino Printer G20i アプリケーションを Google Play ストアから Android デバイスにダウンロードします。または、[6-21 ページ](#)を参照してください。
- (13) Android デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
- (14) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (15) [プリンタ検索] を選択します。
- (16) [デバイスを検索] を選択します。
- (17) プリンタが見つかったら、名前が [利用可能なデバイス] リストに表示されます。
- (18) プリンタを選択します。
- (19) [接続] を選択します。
- (20) プリンタの PIN 番号を入力します。
- (21) [OK] を選択します。
- (22) Domino Printer G20i アプリケーションの [ホーム] メニューに戻ります。
- (23) これでプリンタが使用できるようになりました。

手動による Android アプリのインストール

Domino Printer G20i アプリケーションを PC を使用した手動による Android デバイスへのインストール手順

- (1) Android デバイスで、[メニュー] > [設定] > [セキュリティ] を選択します。
- (2) [不明のソース] を有効にします。
- (3) Android デバイス上のファイルの検索を容易にするには、ES File Explorer や File Manager といったアプリを Google Play ストアからダウンロードしてインストールします。
- (4) 「Domino Printer G20i.apk」というファイルを PC に保存します。
- (5) USB ケーブルで Android デバイスを PC に接続します。
- (6) Android デバイスのプロンプト画面が表示されたら、[メディアデバイス (MTP) として接続] を選択します。
- (7) PC 上で「Domino Printer G20i.apk」ファイルを Android デバイスにコピーします。
- (8) Android デバイスを PC から切断します。
- (9) ES File Explorer または File Manager App を使用して「Domino Printer G20i.apk」ファイルを検索します。
- (10) 「Domino Printer G20i.apk」ファイルを選択します。
- (11) [インストール] を選択します。

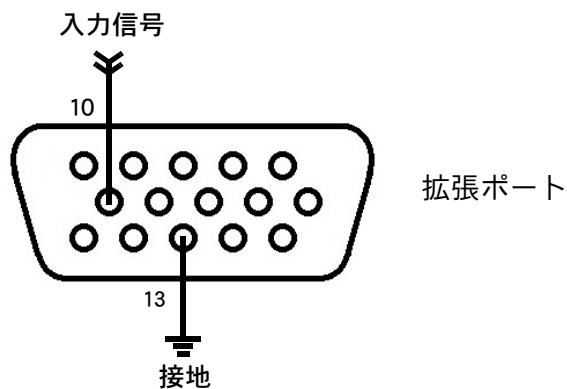
入力接続

NPN 入力信号接続



注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

NPN 入力信号は、拡張ポートに接続して、カウンタのリセットなどの機能をトリガします。



NPN 入力信号配線図

外付製品センサ

G20i は、NPN、PNP およびプッシュ - プルセンサタイプをサポートしています。接続されると、製品の先端がセンサを通過するときに、センサは印字トリガ信号を G20i に送信します。

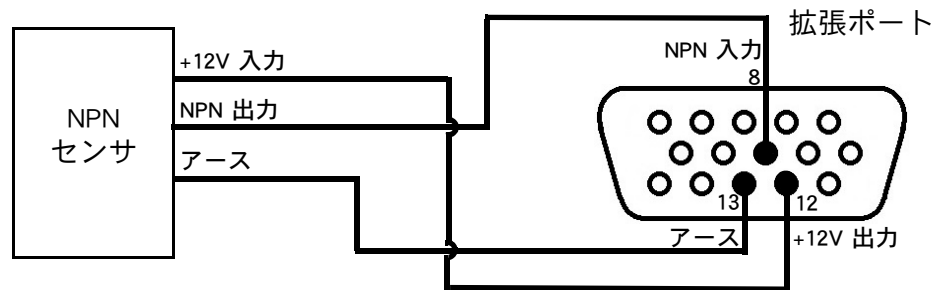
外付製品センサを使用する場合、製品センサタイプ (6-44 ページ)、印字開始位置 (6-46 ページ) ならびに印字モード (6-48 ページ) を設定する必要があります。

NPN 製品センサの接続

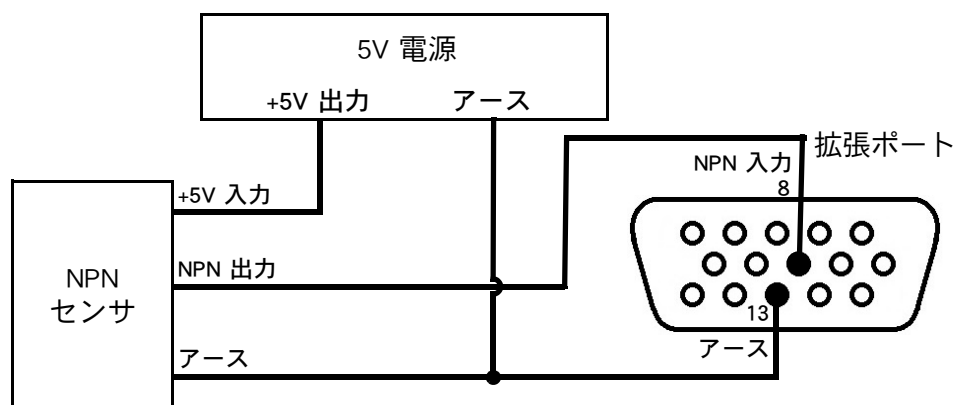


注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

拡張ポートを使用して、センサに 12V 電源を供給することができます。センサで 5V 電源が必要な場合は、5V の外部電源を使用してください。



NPN センサのプリンタ接続配線図
(プリンタから 12V 電源を供給)



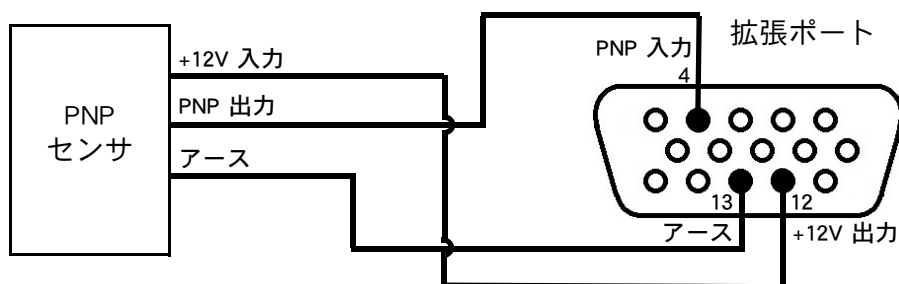
NPN センサのプリンタ接続配線図
(外付電源から 5V 電源を供給)

PNP 製品センサの接続

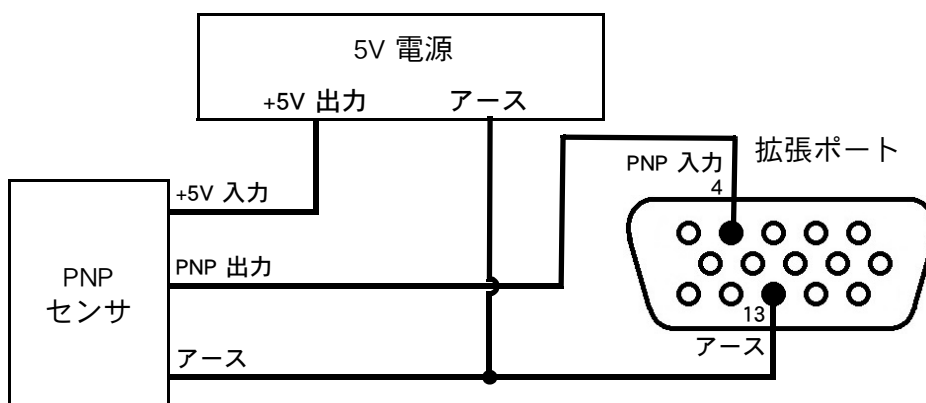


注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

拡張ポートを使用して、センサに 12V 電源を供給することができます。センサで 5V 電源が必要な場合は、5V の外部電源を使用してください。



PNP センサのプリンタ接続配線図
(プリンタから 12V 電源を供給)



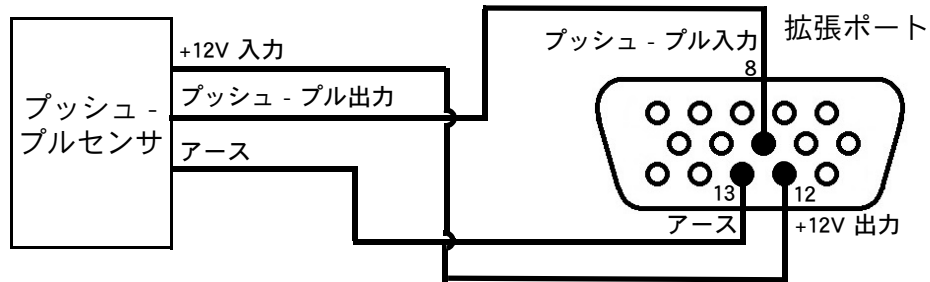
PNP センサのプリンタ接続配線図
(外付電源から 5V 電源を供給)

プッシュ - プル製品センサの接続

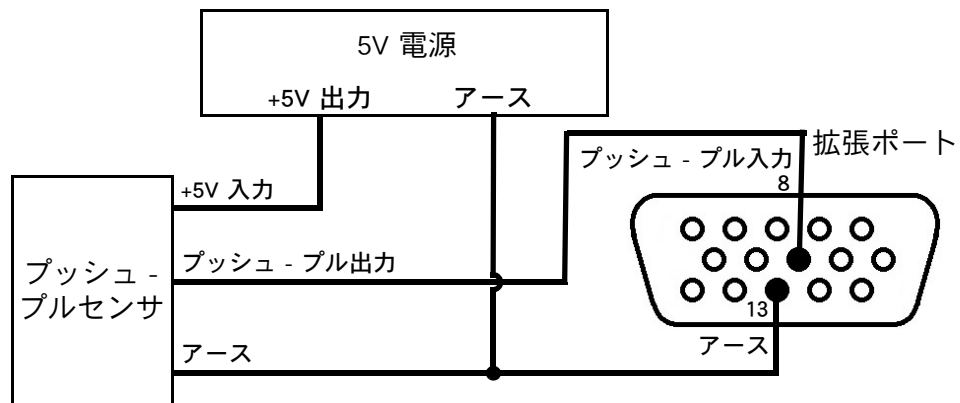


注意: 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

拡張ポートを使用して、センサに 12V 電源を供給することができます。センサで 5V 電源が必要な場合は、5V の外部電源を使用してください。



プッシュ - プルセンサのプリンタ接続配線図
(プリンタから 12V 電源を供給)



プッシュ - プルセンサのプリンタ接続配線図
(外付電源から 5V 電源を供給)

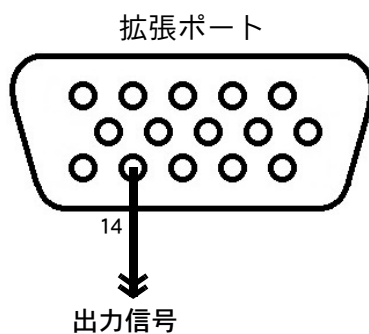
出力接続

NPN 出力信号接続



注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

プリンタは、印字ごとに拡張ポートから NPN 出力信号を発生します。



NPN 出力信号配線図

アラームビーコンの接続



注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

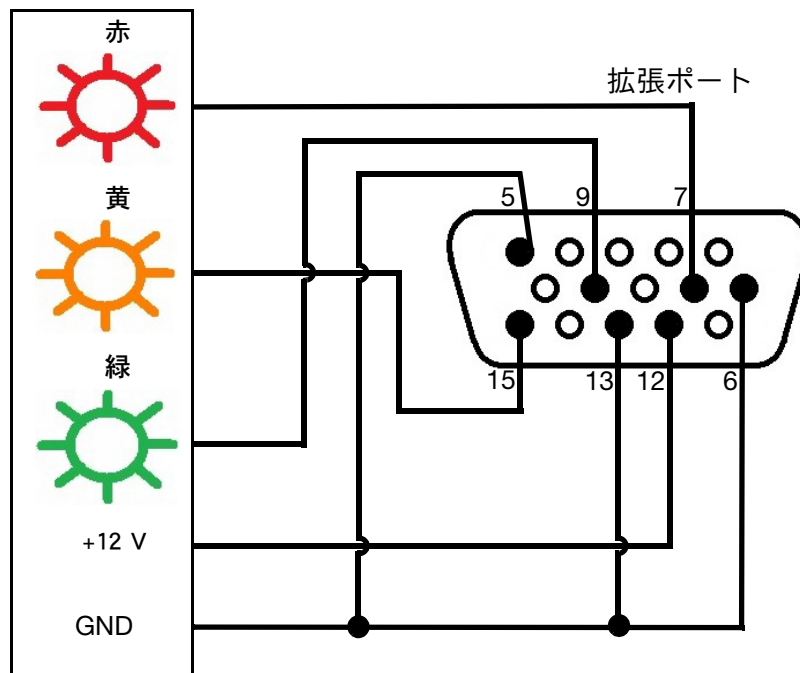
アラームビーコンを接続することで、オペレータはプリンタの状態を遠隔で監視することができます。



ビーコン信号	説明
赤	故障のためプリンタが停止しました。
黄	プリンタを確認する必要があります。
緑	プリンタは印字中または印字準備完了状態です。

電源 : 12V

アラーム
ビーコン



アラームビーコンのプリンタ接続配線図

シャフトエンコーダの接続

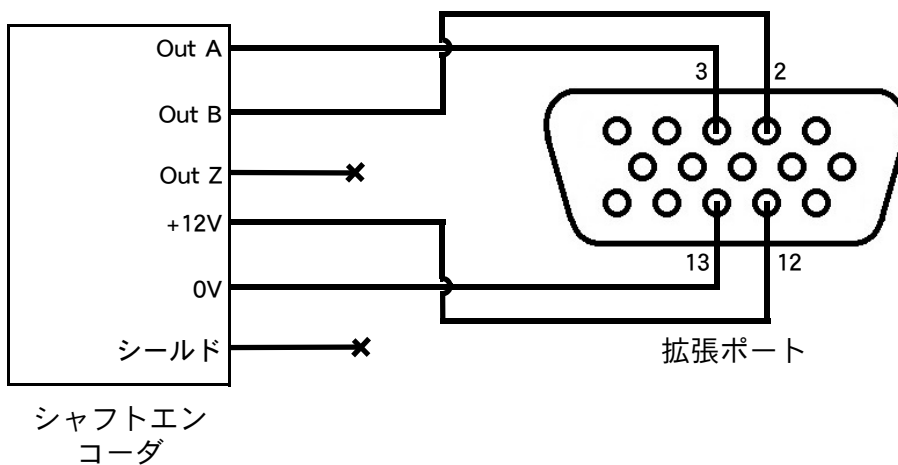


注意： 配線の接続を行う前に G20i の電源を切り、電源の接続を外してください。

シャフトエンコーダを G20i に接続して製造ラインの速度を測定することができます。印字中に製造ラインの速度が変化する場合は、シャフトエンコーダをおすすめします。

注記： G20i は、固定ホイールシャフトエンコーダのみをサポートしています。必要なホイールの直径の計算については、[6-29 ページ](#)を参照してください。

シャフトエンコーダの技術仕様	
1 回転あたりのパルス数：	3600
出力：	A B Z
電源：	12 - 24V



シャフトエンコーダのプリンタ接続配線図

シャフトエンコーダのホイールの直径

必要なエンコーダホイールの直径 (D) を計算するには必要な印字解像度 (R) の確認も必要です。

以下の計算をします。

$$3600 \div (\pi \times R) = D$$

例えば、必要な印字解像度が 600DPI の場合、エンコーダホイールの計算は次のようになります。

$$3600 \div (\pi \times 600) = 1.90985 \text{ インチまたは } 48.5\text{mm}$$

シャフトエンコーダのセットアップ

シャフトエンコーダを使用するには、G20i の設定でセットアップする必要があります。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したシャフトエンコーダのセットアップ手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [速度] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して [選択] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) カーソルを移動して [エンコーダ] をハイライト表示させます。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) カーソルを移動して [値] をハイライト表示させます。
- (10) Enter キーを押します。
- (11) カーソルを移動して [リアル] をハイライト表示させます。
- (12) Enter キーを押します。

PC の使用

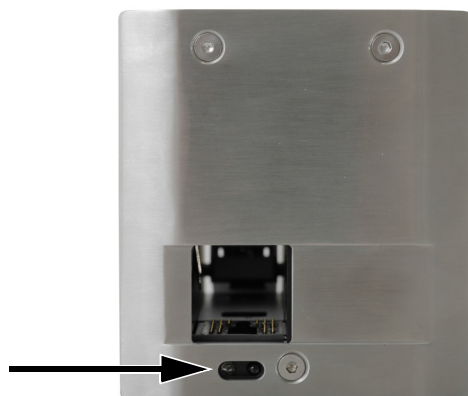
PC を使用したシャフトエンコーダのセットアップ手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを起動します。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [エンコーダ] サブメニューで [エンコーダ] を選択します。
- (4) 以下の表に記載されているいずれかの設定を選択します。

リアル	速度変化に対してエンコーダを最適化します。
高速	高速印字用にエンコーダを最適化します。
低速	低速印字用にエンコーダを最適化します。

内部製品センサ

G20i は、メッセージの印字をトリガする内部製品センサを備えています。



内部製品センサの位置

内部製品センサは、製品の先端が製品センサを通過するときに、印字トリガ信号を発生させます。

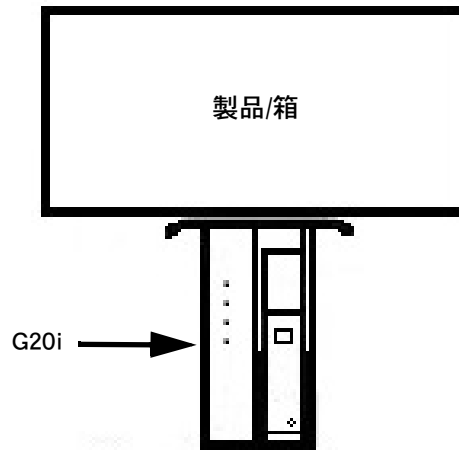
外付製品センサを使用する際には、製品センサタイプ (6-44 ページ)、印字開始位置 (6-46 ページ) ならびに印字モード (6-48 ページ) を設定する必要があります。

内部製品センサの補正については、6-32 ページの「内部製品センサの補正」を参照してください。

内部製品センサの補正

内部製品センサの補正手順

- (1) G20i の前に製品または箱を置き、製品センを覆うようにします。



センサの位置

- (2) センサの LED が点灯し、製品が検出されたことを表示します。



センサ LED

設置

- (3) センサ LED が点灯しない場合、小型のドライバで、センサ LED が点灯するまで調整ネジを時計回りにまわします。



調整ネジ

- (4) 内部製品センサの前にある製品または箱を移動させます。
- (5) センサ LED が消灯します。センサ LED が消灯しない場合、LED が消灯するまで調整ネジを反時計回りに回転させます。

印字密度、印字解像度、印字速度

プリンタの印字密度と印字解像度の設定は、最大印字速度に影響します。
以下の表に、印字密度、印字解像度、印字速度の関係を示します。

注記: 印字密度と印字解像度で高い値を設定すると、インクの消費量が多くなります。

密度 解像度	1	2	3	4	5
600 × 600 (PC 接続)	38m/min	19m/min	12m/min	9m/min	7m/min
600 × 300 (PC 付き)	76m/min	38m/min	25m/min	19m/min	15m/min
600 × 150 (PC 付き)	152m/min	76m/min	50m/min	38m/min	30m/min
600 × 100 (PC 付き)	228m/min	114m/min	76m/min	57m/min	45m/min
300 × 300	76m/min	38m/min	25m/min	19m/min	15m/min
300 × 150	152m/min	76m/min	50m/min	38m/min	30m/min
300 × 100	228m/min	152m/min	101m/min	76m/min	60m/min

プリンタ設定

G20i の取り付け完了後、プリンタ設定を指定することをお奨めします。
プリンタ設定変更中は、印字を停止する必要があります。詳しくは、
[3-13 ページの「印字の停止」](#)を参照してください。

システムクロックの設定

日付と時刻が正しく印字されるように、システムクロックを設定する必要があります。

以下の手順では、システムクロックの設定方法について説明しています。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用したシステムクロックの設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [システムクロック] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[日付] をハイライト表示させます。
- (6) キーボードの c および è 矢印キーを使用して、日付の値を変更します。
- (7) Enter キーを押し、日付の値を確定します。
- (8) カーソルを移動して、[時刻] をハイライト表示させます。
- (9) キーボードの c および è 矢印キーを使用して、時間の値を変更します。
- (10) 時間の値を適用するには、Enter キーを押します。
- (11) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

注記： この機能は利用できません。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用したシステムクロックの設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [システムクロック] を選択します。
- (4) システムの日付と時刻を変更できるようになります。
- (5) [設定] を選択します。

長さ単位の設定

以下の手順では、プリンタで指定される長さ単位の設定方法について説明しています。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した長さ単位の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[単位] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[インチ] または [mm] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

PC を使用した長さ単位の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [パラメータ] サブメニューで [単位] ドロップダウンを選択します。
- (4) [ミリメートル] または [インチ] を選択します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した長さ単位の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [単位] を選択します。
- (4) [ミリメートル] または [インチ] を選択します。
- (5) [OK] を選択します。

印字方向の設定

以下の手順では、製品がプリントヘッドを通過する方向の選択方法、およびどちらの方向を上にしてメッセージが印字されるのかを説明します。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字方向の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [方向] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して印字方向をハイライト表示させます。

ABC
CBA
CBA
ABC

- (6) Enter キーを押します。
- (7) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

PC を使用した印字方向の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [パラメータ] サブメニューで [方向] ドロップダウンを選択します。
- (4) [左から右へ] または [右から左へ] を選択します。
- (5) メッセージを上下逆に印字するには、[表示を回転] チェックボックスをチェックします。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した印字方向の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字方向] を選択します。
- (4) 印字方向を以下から選択します。

ABC
CBA
CBA
ABC

- (5) [設定] を選択します。

印字密度の設定

以下の手順では、印字密度の設定方法について説明しています。

印字密度で高い値を設定すると、より濃いメッセージが印字されますが、インクの消費量が増え、印字速度が低下します。詳細については、[6-34 ページ](#)を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字密度の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [密度] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、密度レベルを 1 から 5 までハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

PC を使用した印字密度の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [パラメータ] サブメニューの [密度] で、1 から 5 までのいずれかのレベルを選択します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した印字密度の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [密度] を選択します。
- (4) 密度レベルとして、1 から 5 までのいずれかの値を選択します。
- (5) [設定] を選択します。

印字解像度 (DPI) の設定

以下の手順では、印字解像度 (DPI) の設定方法について説明しています。

印字解像度を上げると印字品質が向上しますが、最大印字速度が低下します。詳細については、[6-34 ページ](#)を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字解像度の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [解像度] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、目的の解像度をハイライト表示させます。
 - 300x300 DPI
 - 300x150 DPI
 - 300x100 DPI
- (6) Enter キーを押します。
- (7) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

PC を使用した印字解像度の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [パラメータ] サブメニューで [解像度 DPI] ドロップダウンを選択します。
- (4) 必要な解像度を以下から選択します。
 - 600x600
 - 600x300
 - 600x150
 - 600x100
 - 300x300
 - 300x150
 - 300x100

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した印字解像度の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [解像度] を選択します。
- (4) 必要な解像度を以下から選択します。
 - 300x300 dpi
 - 300x150 dpi
 - 300x100 dpi
- (5) [設定] を選択します。

印字速度の設定

以下の手順では、印字速度を手動で設定する方法について説明しています。プリンタがシャフトエンコーダを使用して印字速度を測定していない場合、印字速度を手動で設定する必要があります。

注記： 製造ラインの速度が変化する場合は、シャフトエンコーダを使用して印字速度を測定することをお勧めします。

設定可能な最小速度は、0.1m/min です。

設定可能な最大速度は 228m/min ですが、以下の表のように、印字密度と印字解像度の設定により、設定可能な最大速度が異なります。詳細については、[6-34 ページ](#)を参照してください。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字速度の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [速度] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) 製造ラインのコンベアの速度 (m/min) を入力します。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

PC の使用

PC を使用した印字速度の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを起動します。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [エンコーダ] サブメニューで [エンコーダなし] を選択します。
- (4) [速度] テキストボックスで、製造ラインのコンベアの速度 (m/min) を入力します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した印字速度の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字速度] を選択します。
- (4) スライダーを使用して、製造ラインのコンベアの速度 (m/min) を選択します。
- (5) [OK] を選択します。

製品センサタイプの設定

以下の手順では、G20i の設定で内部または外付製品センサを選択する方法について説明しています。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した製品センサタイプの設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [センサ] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、次のいずれかをハイライト表示させます。
 - [内部] - 内部製品センサを使用します。または、
 - [外付] - 外付の製品センサを使用します。
- (6) Enter キーを押します。

PC の使用

PC を使用した製品センサの設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを起動します。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [印字モード] サブメニューで、以下のいずれかを選択します。
 - [内部] - 内部製品センサを使用する場合は、これを選択します。
 - [外部] - 外付の製品センサを使用する場合は、これを選択します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した製品センサタイプの設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [センサ] を選択します。
- (4) 次のいずれかを選択します。
 - [内部センサ] - 内部製品センサを使用します。または、
 - [外付センサ] - 外付の製品センサを使用します。
- (5) [設定] を選択します。

印字開始位置の設定

以下の手順では、印字開始位置の値の設定方法について説明しています。

印字開始位置の値では、G20i が印字トリガ信号を受信する地点とメッセージを印字する地点との間隔を設定します。

印字開始位置の値では、印字されるメッセージの間隔も設定します。

ワイヤレス USB キーボードの使用

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字開始位置の設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して [印字開始位置] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) [印字前ディレイ] の値を変更して、プリントトリガが作動する地点とメッセージが印字される地点の間隔を設定します。
- (6) [印字後ディレイ] の値を変更して、メッセージの印字が終了した地点と次のメッセージの印字を開始する地点の間隔を設定します。
- (7) Enter キーを押します。

PC の使用

PC を使用した印字開始位置の設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [印字モード] サブメニューの [印字前ディレイ] で、印字トリガが作動してからメッセージが印字されるまでの間隔を設定します。
- (4) [印字後ディレイ] の値を変更して、メッセージの印字が終了した地点と次のメッセージの印字を開始する地点の間隔を設定します。

Android デバイスの使用

Android デバイスを使用した印刷開始位置の設定手順

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字開始位置] を選択します。
- (4) [印字前ディレイ] の値を変更して、プリントトリガが作動する地点とメッセージが印字される地点の間隔を設定します。
- (5) [印字後ディレイ] の値を変更して、メッセージの印字が終了した地点と次のメッセージの印字を開始する地点の間隔を設定します。
- (6) [設定] を選択します。

印字モードの設定

以下の手順では、G20i の印字モードの設定方法について説明しています。
G20i には 2 つの印字モードがあります。

センサモード	製品センサからパルス入力信号を受信すると、G20i は 1 つ以上のメッセージを印字します。
連続モード	製品センサからの連続入力信号により、G20i はメッセージをトリガされます。当該入力信号が停止した時のみ、印字は停止します。

ワイヤレス USB キーボードの使用

センサモード

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字モードの [連続] への設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[印字モード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) これで、以下の設定が可能になります。

モード:	[センサ] を選択します。
繰り返し:	各入力信号後にメッセージを繰り返す回数を入力します。(0 - 100)
印字開始位置:	印字されるメッセージの間隔を入力します。(10 - 10,000)

- (6) Enter キーを押します。

連続モード

ワイヤレス USB キーボードを使用した印字モードの [連続] への設定手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[印字モード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) これで、以下の設定が可能になります。

モード :	[連続] を選択します。
印字開始位置 :	印字されるメッセージの間隔を入力します。 (10 - 10,000)
有効 :	次のいずれかを選択します。 レベル - 印字開始にはセンサ信号が必要です。 即時 - G20i は、[メッセージ] メニューで [運転開始] が選択されるとすぐに印字を開始します。

- (6) Enter キーを押します。

PC の使用

センサモード

PC を使用した印字モードの [連続] への設定手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを開きます。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [印字モード] を [連続] に変更します。
- (4) これで、以下の設定が可能になります。

センサタイプ:	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 外部 - 外付の製品センサを使用して印字を行ないます。 • 内部 - 内部製品センサを使用して印字を行ないます。
印字前ディレイ:	印字信号を受信してから最初のメッセージを印字するまでの間隔を設定します。
印字後ディレイ:	メッセージ間の間隔を設定します。
繰り返しセンサ回数:	印字メッセージを繰り返す回数を入力します。
センサ固定長:	メッセージの繰り返し間隔を入力します。

連続モード

PC を使用して印字モードを [連続] モードに設定するための手順

- (1) Domino G20i ソフトウェアを起動します。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [印字モード] を [連続] に変更します。
- (4) [固定長を継続] で、各メッセージ間の印字間隔を設定します。
- (5) [即時] または [レベル] を選択します。

即時	印字信号を 1 回入力するだけで、連続印字が実行されます。
レベル	印字信号が入力されている間、連続印字が実行されます。印字信号を入力していない時は、印字を停止します。

Android デバイスの使用

センサモード

Android デバイスを使用して印字モードを [連続] に設定する手順は、以下のとおりです。

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字モード] を選択します。
- (4) [センサモード使用] チェックボックスをチェックします。
- (5) これで、以下の設定が可能になります。

印字開始位置 (mm):	印字されるメッセージの間隔を入力します。 (10 - 10,000)
繰り返し回数:	メッセージを繰り返す回数を入力します。

- (6) [設定] を選択します。

連続モード

Android デバイスを使用して印字モードを [連続] に設定する手順は、以下のとおりです。

- (1) Android デバイスで Domino Printer G20i アプリケーションを開きます。
- (2) [プリンタ設定] を選択します。
- (3) [印字モード] を選択します。
- (4) [センサモード使用] チェックボックスのチェックを外します。
- (5) [印刷開始位置 (mm)] の値を印字されたメッセージの間隔に設定します。
- (6) [設定] を選択します。

パスワード保護の設定

G20i では、無許可のユーザーがプリンタ設定にアクセスしないようにパスワードで保護することができます。

注記：(1) デフォルトでは、G20i のパスワード保護は無効になっています。

(2) デフォルトのパスワードは 1234567890 です。

(3) パスワードは、10 文字以内の英数字とします。

(4) パスワード保護を設定するには、ワイヤレス USB キーボードが必要です。

パスワード保護の設定手順

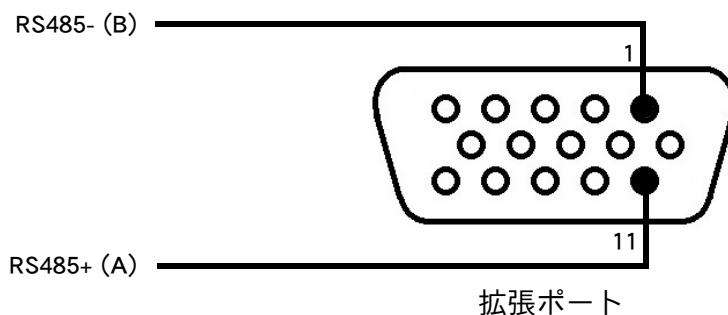
- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示させます。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[パスワード] をハイライト表示させます。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) カーソルを移動して、[アクティブ] をハイライト表示させます。
- (6) Enter キーを押します。
- (7) 旧パスワードを入力します。
- (8) Enter キーを押します。
- (9) 新しいパスワードを入力します。
- (10) Enter キーを押します。
- (11) 新しいパスワードをもう一度入力します。
- (12) Enter キーを押します。
- (13) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

RS-485 通信

PC または PLC でプリンタの RS-485 通信プロトコルを使用して、複数のプリンタを同時に制御することができます。

RS-485 配線接続

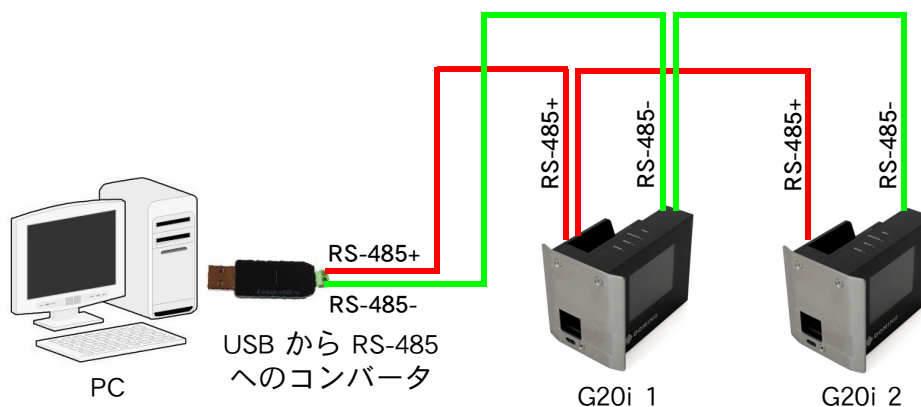
RS-485 通信では、プリンタの拡張ポート上のピン 1 とピン 11 が使用されます。



プリンタの RS-485 の配線図

複数のプリンタを 1 台の PC に接続

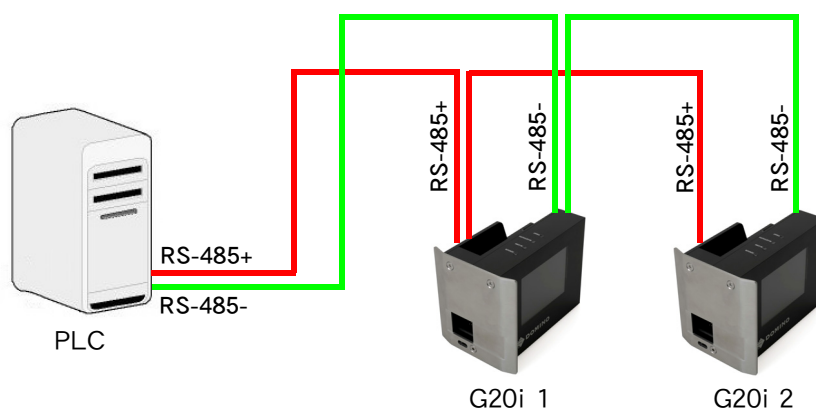
以下の図は、複数のプリンタを RS-485 経由で 1 台の PC に接続する方法を示しています。



RS-485 の接続図 - 複数のプリンタを 1 台の PC に接続

複数のプリンタを 1 台の PLC に接続

以下の図は、複数のプリンタを RS-485 経由で 1 台の PLC に接続する方法を示しています。



RS-485 の接続図 - 複数のプリンタを 1 台の PLC に接続

プリンタの RS-485 の設定

注記: (1) この操作を行う場合は、ワイヤレス USB キーボードが必要になります。

(2) RS-485 の設定値と、PLC または PC の COM ポートの設定値が一致していることを確認してください。

RS-485 通信用にプリンタを設定するための手順

- (1) メインメニューで、[設定] をハイライト表示します。
- (2) Enter キーを押します。
- (3) カーソルを移動して、[RS485] をハイライト表示します。
- (4) Enter キーを押します。
- (5) これで、以下の設定が可能になります。

状態:	RS-485 通信の有効と無効を切り替えます。
アドレス:	各プリンタ固有のアドレスを設定します。アドレスの値として、1 から 255 までの整数を設定します。
ボーレート:	9600 から 115200 までの範囲で、通信速度を設定します。
パリティ:	以下に示すいずれかのプロトコルチェックサムを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 奇数 • 偶数 • なし

設置

データビット:	[パリティ]を[なし]に設定した場合は、「8」を選択します。 [パリティ]を[奇数]または[偶数]に設定した場合は、「9」を選択します。
ストップビット:	「1」または「2」を選択します。

(6) Esc キーを押してメインメニューに戻ります。

POD (印字オンラインデータ) の設定

POD オブジェクトを使用すると、バーコードスキャナやネットワーク上の機器から読み込んだデータをプリンタに転送して印字することができます。POD オブジェクトには、最大 20 件の印字可能項目を含めることができます。

POD オブジェクトをラベルデザイン内に挿入する手順については、[3-50 ページ](#)を参照してください。

POD (印字オンラインデータ) のソースを定義するための手順

- (1) Domino G20i PC ソフトウェアを起動します。
- (2) [プリンタ制御] メニューを開きます。
- (3) [設定] アイコンをクリックします。



- (4) 以下の表に記載されている設定を定義します。

有効	チェックマークを付けて POD を有効にします。
POD モード	以下に示すいずれかの印字モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて印字 - すべてのデータを受信して、各 POD 項目を順に印字します。 • 最後を印字 - すべてのデータを受信しますが、印字するのは最後の POD 項目のみです。 • 最後を繰り返し印字 - すべてのデータを受信しますが、印字するのは最後の POD 項目のみです。新しいデータを受信するまで、最後の POD 項目を繰り返し印字します。
分割文字	データ転送時に POD 項目を分割するための文字を選択します。
エンコーディング	データのエンコード方式を選択します。
開始パッケージ	データ転送時に印字可能項目の開始位置をマークするための文字を定義します。
終了パッケージ	データ転送時に印字可能項目の終了位置をマークするための文字を定義します。
接続タイプ	以下に示すいずれかの接続タイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP/IP • UDP • バーコードリーダー
IP	データ送信元の IP アドレスを入力します。
ポート	データ送信元のポート番号を入力します。

設置

注記: Windows ファイアウォールで警告が表示されている場合は、システムファイアウォールをオフにするか、アプリケーションへのネットワークアクセスを有効にしてください。